

2021 年度事業報告集

特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

目 次

■ 2021年度事業報告	
・2021年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告	3
・その他実績	22
■ 2021年度決算報告	
・活動計算書	27
・計算書類の注記	29
・貸借対照表	31
・財産目録	32
・備品台帳	34
■ 監査報告書	35
■ 2022年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた役員名簿	36
■ 定款の変更	37
■ 2022年度事業計画/予算	
■ 2022年度サポートちた組織図と事業体系	

2021年度事業報告



- 事業報告
- その他実績

2021年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人地域福祉サポートちたは、福祉の増進と地域社会の発展に寄与するため、地域福祉を担う市民としての意識の高い人材を養成する事業や市民活動を支援する事業を行っている。法人が掲げたミッション、2025年に向けて基礎自治体ごとの「0歳から100歳の地域包括ケア」の実践を目標に立て、今年度は多様な主体との連携・協働により、地域防災、居場所づくり、多職種連携を促す取り組みを実施した。特に、3か年にわたる愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業(委託)は、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインを既存の通いの場へ導入化を図ったことでより多くの市民にその必要性を伝え、地域包括ケアの理解を深めることができた。

具体的には、当法人の定款第5条第1号の事業として、介護職員初任者研修、喀痰吸引等第3号研修、強度行動障害支援者養成研修課程(基礎・実践)の福祉人材育成を行い、またその次世代の講師養成にも努めた。自治体行政職員や民生委員、学生(NPO協働型サービスマネジメントやインターンシップ等)の全対象に対して、NPO現場体験型を基盤とした人材育成研修を行った。定款第5条第2号の事業として、市民カフェ、ベティ基金等の運用を含むNPO事務局支援、さらに、グッドガバナンス認証機関とアマゾンジャパンが取り組む「みんなで応援プログラム」に参画し、NPOが必要とする物品寄付による支援を行った。また、知多市市民活動センター管理及び人材育成の市民活動支援事業、定款第5条第3号の事業として会報発行等の情報交流促進事業、第5条第4号の事業として、大学やNPO、行政等が行うまちづくり講座への講師派遣、行政計画策定委員やまちづくり審議会等への参加、定款第5条第5号の調査・研究・提言事業として、愛知県NPOと大学・企業連携促進事業(あいち協働事業サポートセンター((N)ボランタリーネイバーズ、(N)ボラみみより情報局、当法人の三者協働受託)による、多様な主体との連携・協働促進コーディネーター養成研修及び地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議を行った。

2 事業の実施に関する事項

『特定非営利活動事業』

I 人材育成

I-1 福祉人材育成

安心と豊かさを実現できる在宅サービス、地域福祉を担うヘルパーを育成(県の認定に準じたカキュラムの実施)



(1)

介護職員初任者研修(通信)	実施形態	自主事業	収益	2,840,500円
			費用	1,990,568円

日程	場所	事業内容	受講者数
12/23-3/22	日本福祉大学美浜キャンパス ※新型コロナウイルス感染症対策として、一部講義(27時間)をオンライン(Zoom)にて実施	介護に携わる者が業務を遂行する上で必要な知識と技術を習得すると同時に、その実践の根拠となる考え方を学ぶことで、基本的な介護業務を行う介護職員初任者研修課程習得を目指した講義・演習・修了試験の実施	39人
合計			39人

(2)

強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	実施形態	自主事業	収益	2,551,800円
			費用	1,788,252円
		委託事業(半田市)	収益	375,705円
			費用	345,989円

形態	日程	場所	内容	受講者数
委託	6/7、9/17	オンライン開催	行動障害が著しい人を支援する施設職員等を対象に障害特性の理解と適切な対応を学び、研修課程習得を目指した講義、演習の実施	48人
自主	6/20、27	メディアス体育館ちた		40人
自主	9/18、19	知多市市民活動センター		26人
自主	12/18、26	メディアス体育館ちた		28人
自主	3/6、13	知多市市民活動センター		35人
合計				177人

(3)

強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	実施形態	自主事業	収益	550,040円
			費用	493,354円
		委託事業(半田市)	収益	295,020円
			費用	275,210円

形態	日程	場所	事業内容	受講者数
委託	11/1、4	オンライン開催	介護施設などで3年以上の実務経験を有する指導的立場にある職員を対象に、支援計画や手順書の作成を行うための講義・演習の実施	9人
自主	12/5、12	メディアス体育館ちた		22人
合計				31人

[強度行動障害支援者養成研修(実践研修)講師リハーサル]

開催日：11月28日 開催場所：知多市市民活動センター会議室

内容：運営要領(2017年8月3日障発 0803 第1号当職通知)の一部改正に伴う研修カリキュラムを見直すため、研修講師による新カリキュラム研修資料の確認及び進行リハーサルの実施

参加者：出口晋((N)ゆめじろう)、林 大輔((社福)大府福祉会)、土肥克也((N)PakaPaka)、神田健司((N)あい)、奥山 善仁((株)あいぼ)、小濱 麻美((一社)みずなぎ)、靱山えり((一社)NEWS)、山森英津子

(4)

喀痰吸引等研修<第三号研修(特定の者)>	実施形態	自主事業	収益	1,675,610円
			費用	1,174,235円

日程	場所	事業内容	基本修了者	実地修了者
6/11、18	知多市市民活動センター	介護職員が施設や居宅において、たんの吸引や経管栄養を行うための研修課程の実施(基本研修・実地研修※) ※実地研修のみ対象者自宅等で実施	19人	36人
1/6、13	知多市市民活動センター		5人	7人
合計			24人	43人

[喀痰吸引等研修実施委員会の設置及び運営(必置)]

開催日：3月25日(金) 開催場所：当法人事務所(オンライン併用)

内容：①研修実施状況と進捗状況の報告、②実地研修における新型コロナウイルス感染予防対策の周知報告

参加者：中島一光(いきいき在宅クリニック院長)、森田貞子(すみれ訪問看護ステーション管理者)、戸田愛(いのちのきらめき畑)、市野恵、山森英津子

[担当者のふりかえり]

・強度行動障害支援者養成研修はカリキュラム改正に伴い内容を一新した。基礎研修講義は、たとえ大府利用保護者のご協力のもと『家族の想い』を導入したことにより、受講生にとって貴重な時間となっている。疑似体験やロールプレイ等の演習は、受講生の理解が進むよう講師と協議を重ねながら運営を行った。

・喀痰吸引等研修(第3号研修)で初めて外国籍(1名)の受講があった。講師が独自に作成した『やさしい日本語』対応のテキストで学習した結果、筆記試験に合格することができた。

・精神障害や知的障害で行動上に著しい困難を有する方の特性について正しく理解するための行動援護従業者養成研修は今後、強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)に内容を組み入れることで対応していく。(山森英津子)

I-2 NPO人材育成

(1)

日本福祉大学 NPO協働型サービラーニング(SL)	実施形態	委託事業(日本福祉大学)	収益	740,000円
			費用	695,000円

目的：日本福祉大学は2009年4月よりサービラーニング(以下、SL)を取り組みを始めた。知多地域NPO等での社会経験を生かしたプログラムが特徴。また教育プログラムの狙いである「市民性」を育み、「自己形成力(学習意欲・対人関係能力・問題解決能力)」を高めるとしている。本事業は、大学とNPO等のより良い関係性を築くためのコーディネートを行う

実績①：SL受け入れNPO等の新規開拓及び調整(25団体、学生104人)

SL受け入れNPO等との意見交換会の開催

日程:2022年2月8日(火) 会場:知多市市民活動センター、オンライン併用

参加者数:34人(会場:NPO等8団体11人、教員5人、事務局2人 オンライン:NPO等7団体10人、教員1人、大学事務2人)

実績②：受け入れ学生104人のうち、岡本ゼミ学生5人が当法人で活動

	日程	場所	事業内容
1	8/18	当法人事務所(オンライン)	法人概要及び活動内容の説明
2	8/26	知多市市民活動センター	ちた未来塾第2回「いなべ市のまちづくりを学ぼう！」参加
3	8/30	当法人事務所(オンライン)	広報づくりについての打合せ
4	8/31	当法人事務所(オンライン)	広報づくりの調べ学習
5	9/4	当法人事務所(オンライン)	講演会「私を生かして、まち育て～まちの縁側って？」参加
6	12/18	知多市市民活動センター	ちた未来塾第4回「活動報告」発表

[担当者のふりかえり]

今年度はオンライン中心の活動のため、ちた未来塾「広報づくりを学ぶ」に参画した。個別の作業が多かったが、出身地の取り組みや政策を調査したことにより、学生それぞれが身近なまちづくりについて実感することができた。(山森英津子)

(2)

インターン受け入れ	実施形態	委託事業(知多市若者支援センター、名古屋短期大学)	収益	74,000円
			費用	600円

目的：当法人の業務体験や研修・会議出席等の機会の提供、会員法人での現場体験等を通じて、NPOの理解、協働を学ぶ

日程	受け入れの実績	参加者数
8/18、20、23、25、26	知多市若者就労体験希望者	1人×5日間
9/1、3、15、16、21	至学館大学人間力総合演習活動	1人×5日間
10/13、14、15、20、28	知多市若者就労体験希望者	1人×5日間
12/1、6、9、10	知多市若者就労体験希望者	1人×4日間
2/3、10、15、22、24	知多市若者就労体験希望者	1人×5日間
2/21、22、24、25、27	名古屋短期大学現代教養学科1年生	2人×5日間
3/4、5、8、10、12	名古屋短期大学現代教養学科1年生	1人×5日間



[担当者のふりかえり]

法人内の事務作業だけでなく手づくりカフェAda-codaで調理補助作業や接客などの体験を通じてコミュニケーションを学んだ。また登録シェフにとっても、若者が撮る料理写真の見せ方を教えてもらう等の新たな発見もあった。(安藤千栄子)

名古屋短期大学生のインターンは、愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業や知多市担い手人材育成研修への参加、NPOの現場見学、事務作業やAda-codaを体験した。NPOの現場見学では、現場の人から、「自分がまず楽しんで行うこと」の大切さを学んだ。短い期間ではあったが、私たちも様々な経験ができ、楽しい時間となった。(早川純子)

(3)

マネジメントセミナー	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	7,200円

目的：新型コロナウイルス感染症対策及び地域の暮らしを支えるNPO活動の継続を目指す

日程	場所	事業内容	参加者数
4/28	知多市市民活動センター (オンライン併用)	各法人の取り組みの情報共有を実施 「新型コロナウイルス感染症対策」 ・BCP(事業継続計画)の活用 ・法人内での感染予防対策	10人



[担当者のふりかえり]

コロナ禍という、今まで経験したことない状況下において、活動を継続していくためには、法人の代表は、判断を下さなければならない場面も多く、何を基準にどう判断しているか、法人内でどんな感染予防対策をしているかについての意見交換は、有意義な機会となった。また、常に見直しが必要ではあるものの、新型コロナウイルス感染症対策のBCP、何かが起こったときの判断のベースや行動指針を事前につくっておくことが有効であると改めて感じた。(早川純子)

(4)

職員研修	実施形態	委託事業(知多市)	収益	138,710円
			費用	138,760円

目的：住民の福祉の増進を図ることを基本とする地方自治体職員の姿勢を自ら考える機会として、協働の必要性を理解し、NPOの設立の経緯や取り組みの事例及び、協働による地域課題の解決の成果を学ぶ

日程・開催場所	事業内容	参加者数
11/26 知多市市民活動センター	豊かな市民活動を求めて活動するNPOの目線とその成果を理解し、市民と共に協働のまちづくりに取り組む行政の役割を確認する研修を実施 ①「NPOの基礎知識と知多地域の特性(社会背景)」講師:市野恵 ②「権利擁護支援を通じた地域づくり ～知多地域成年後見センターの取り組み～」講師:今井友乃((N)知多地域成年後見センター) ③「市民協働研修 ～ちた塾ってどんなところ?～」講師:横井和美((N)市民大学ちた塾)	入職2年目職員21人 担当課(職員課)1人 計22人
11/29 A)南粕谷ハウス B)ゆいの会	①参加者はAコース、Bコースに分かれてNPO現場へ視察 ②振り返りワークショップの開催	

[担当者のふりかえり]

新型コロナウイルス感染症対策のため、現場視察は2グループに分けて行った。現場の声を直接聞きくことで、制度や行政だけではできない、また民間だけではできないことが、協働によって実現しており、支援のしくみが成り立っていることを、NPOの視点に立って理解し、「自分達にできることは何か」を考え、グループで共有することができた。(安藤千栄子)

(5)

NPO研修	実施形態	委託事業(知多市東部地区民生・児童委員協議会)	収益	71,728円
			費用	64,050円

目的：知多市の東部地区民生・児童委員を対象に、民生委員活動に役立つ知識や制度などを学ぶ

日程	場所	事業内容	参加者数
11/18	知多市市民活動センター会議室	講義①:「高齢者への相談面談の対応について」 講師:白木美千代(知多市高齢者相談支援センター) ビデオ視聴:「訪問活動・相談活動の基本」～民生委員・児童委員のための相談技法研修用ビデオ～ 講義②「介護保険と高齢者福祉」講師:有田てるみ、岩堀良治(知多市長寿課)	17人

[担当者のふりかえり]

高齢者相談支援センターの概要や相談業務のポイント、また高齢者に関わる制度やサービスなどを民生委員としての基礎知識を学んだ。参加者からは「面談相談の対応で具体的な事例や対応例が参考になった」や「昔からの制度の経緯、なぜ介護保険が誕生したかも理解できました」との感想があった。(安藤千栄子)



(6)

現場視察研修	実施形態	委託事業(下表参照)	収益	86,900円
			費用	84,950円

目的：NPO活動の実践現場へ訪問し、双方向により見聞きすることで、その活動を理解する

日程	委託団体	事業内容	参加者数
11/5	一宮市市民活動支援センター	オンライン(Zoom)によるバーチャルバスツアーの実施 ①知多市市民活動センター/市野恵 ②(N)知多地域成年後見センター/今井友乃 ③とまと記念館/江口澄子((N)LET'S食の絆)、長谷川将司(東海市健康推進課) ④南粕谷ハウス/石井久子、今井秀明、江端勝則、森昭彦	参加者:5人 一宮センター職員:3人

[担当者のふりかえり]

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策によりZoomを使った「オンライン・バーチャル版バスツアー」として、主催団体である一宮市市民活動センター職員3人が現場を訪問し、団体の声と現場の様子をWeb配信した。参加者からの質疑を双方向での対応により、「コロナ禍の中で居場所を閉めず継続されていたことが素晴らしい。オンラインでありながら、リアルな現場を感じることができた。」と感想があった。(安藤千栄子)



(7)

高齢者地域コミュニティ参加促進事業	実施形態	委託事業(愛知県福祉局高齢福祉課)	収益	2,441,300円
			費用	2,441,300円

目的：高齢者の社会参加を促進するため、既存の通いの場が抱える「独居高齢者や男性の参加が進まない」ことや、「利用者の固定化」などの課題解決を目指した通いの場モデル事業を3カ年実施し、内容などをまとめ県内全域へ普及することを目的とする

事業内容：知多市市民活動センターを拠点に通いの場を実施。対面による、誰でも参加しやすい通いの場だけでなく、Zoomなどのオンラインツールを活用したハイブリッド参加型イベントを開催した。メイン会場と各地域の通いの場をオンラインでつなぐことで、移動手段に制限のある人や機器の操作が難しい人、またネット環境や機器のない人が、徒歩圏内の通いの場で参加できるような仕組みづくりを実施



	日程	場所	事業内容	参加者数
1	5/19	地域の縁側グリーン・ラソ	高齢者のためのメイク&カラー診断 講師：榊原恵理(マザースターズ)、竹本優子(ビューティリア名古屋) メイクの力で心も元気になる、高齢者のためのメイク講座	9人
2	6/22	知多市市民活動センター オンライン	『老いから学ぶ』事前交流会 オンライン講演会に必要な操作の実践練習を兼ねた交流会	11人
3	6/29	知多市市民活動センター オンライン視聴会場：つつじが丘 3ハウス、ゆいの会、南粕谷 公民館(元気会)、らでいっしゅ	オンライン講演『老いから学ぶ』 講師：長谷川実彰(大智院) 前向きに年を重ねるための、仏教の教えを聞く	71人
4	7/29	知多市市民活動センター オンライン視聴会場：つつじが丘 3ハウス	「喜楽 de 書」体験講座 講師：百武幸一 自由に書を描き、暑中見舞いはがきを作る体験講座	23人

5	8/17	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:つつじが丘 3ハウス	認知症とアロマセラピー 講師:杉江恵(ナーディアム) アロマセラピーの効能や記憶に及ぼす影響を学ぶ	26人
6	9/16	知多市市民活動センター オンライン視聴:南粕谷公民館 (元気会)	はじめての介護講座 講師:榎本美子(知多市高齢者相談支援センター) 家族に介護が必要となった際の相談先や介護保険制度を学ぶ	28人
7	10/12	知多市市民活動センター オンライン	『日本の里山風景を語る』事前交流会 オンライン講演会に必要な操作の実践練習を兼ねた交流会	8人
8	10/15	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:南粕谷ハ ウス、つつじが丘3ハウス	オンライン講演会『知多の里山を語る』 講師:山法師の会 知多市大興寺の四季折々の写真を通じて里山保全活動を伺う	14人
9	11/28	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:つつじが丘 3ハウス	伝統芸能を体験しよう! 講師:尾張万歳保存会 尾張万歳を体験できる多世代参加のワークショップ	22人
10	12/16	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:南粕谷ハ ウス、つつじが丘3ハウス	オンライン講演会『写真で巡る知多の歴史』 講師:岡本嘉久一(元 旭南をよく知ろう会) 貴重な資料写真を見ながら、地域の歴史を学ぶ	24人
11	1/27	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:つつじが丘 3ハウス	もしもの時のために人生会議してみませんか? 在宅ケアセンターの看護師による、エンディングノートを作るきっかけ講座	13人
12	2/25	知多市市民活動センター 手づく りカフェ Ada-coda	もっと野菜をとろう!かんたん!つけもの講座 講師:宝かずみ(菜チュレ) 野菜不足解消のための、初心者料理講座	7人
13	3/30	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:らでいっしゅ	「救急医療情報キット」をつくろう! 講師:西尾聡子(南医療生活協同組合) 救急時に必要な情報を常備しておく「救急医療情報キット」づくり コーヒーを美味しく淹れるための、ハンドドリップ講座 講師:中村省吾さん((福)愛光園ひかりのさとファーム)	21人
延べ				266人

広報啓発事業

	日程	場所	広報啓発事業内容	参加者数
1	5/28	知多市市民活動センター	サロンでZoomを使ってみよう! サロン管理者向けの、Zoom基礎講座	16人
2	10/8	知多市市民活動センター	はじめてのZoom講座 通いの場参加者向けの、Zoom基礎講座	15人
3	11/24	知多市市民活動センター	はじめてのLINE講座 講師:まうすの会 高齢者向けのLINE基礎講座	15人
4	12/4 12/18	地域の縁側ラソ・プラザ 地域の縁側グリーン・ラソ	コンサート「0~100歳つなぐつながるコンサート」	
5	3/5	知多市市民活動センター	講演会「これからの時代の居場所づくり」 講師:湯浅誠((N)全国こども食堂支援センター理事長)	76人
延べ				122人

[高齢者地域コミュニティ参加促進事業マニュアル検討会議の開催]

目的:3年間の実施内容を通いの場マニュアルにまとめ、2022年度に愛知県が一般介護予防事業において通いの場の充実・継続的な拡大に主導的役割を果たす県内市町村および地域包括支援センターへマニュアルを配布(予定)

構成員:学識経験者、担当課、モデル事業を実施した5団体((N)瀬戸地域福祉を考える会まごころ、(一社)地域社会福祉サービス支援機構、(N)ライフステーション・あいち、(N)楽笑、当法人)

場 所：愛知県生涯学習推進センター視聴覚室

	日程	内容
第1回	10/11	①これまでの取り組み状況について報告(モデル事業実施団体) ②通いの場マニュアル案の検討
第2回	2/14	①3年間の総括(成果と課題)モデル事業終了後の取り組みについて報告(モデル事業実施団体) ②通いの場マニュアル案の検討 ③来年度の取り組み方針案について検討

[担当者のふりかえり]

3年目となる通いの場では、オンライン(Zoom)を活用したイベントを開催、当初はオンラインを敬遠する人もいたが、新型コロナウイルス感染症拡大により高齢者もスマホやオンライン(Zoom)を利用する機会が増えたことで参加につながった。また積極的に学びたいと思っている男性高齢者が多数いることがわかった。湯浅誠氏の講演会より、「子ども食堂という居場所は入場制限のない公園のような場所である」とあり、高齢者だけではなく、多世代で交流できる居場所こそが「男性高齢者の参加が少ない」や「参加者の固定化」等の課題解決になるのではないかと感じた。(安藤千栄子)



(8)

人財育成事業	実施形態	委託事業(ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク)	収益	400,400円
			費用	400,400円

目 的：主体的かつ自立的に地域づくりを行う人財の育成と、課題解決型の活動等の志事の創出を図るため、市と連携して人財育成講座を開催するものとして、「地域でのコト起こしを実現した」先駆者たちから、その視点や考え方、人とのつながりを生むヒントを学ぶ

日程	場所	事業内容	参加者数
12/19	メディアすちた体育館 2階大会議室 (オンライン併用)	・先駆者が語るpart1 持続可能な地域とは ～自分らしい関わり方でまちを楽しむ～ スピーカー：加藤慎康((公社)カモケンラボ代表) ・先駆者が語るpart2 わくわくする地域の未来 スピーカー：加藤慎康((公社)カモケンラボ代表) ※再掲 新美泰樹((株)PLUS OKD 代表取締役社長) 伊藤友加子((株)Gu・RADO 代表取締役) コーディネーター：星野博((N)志民連いちのみや 理事長)	オンライン9人 会場39人

[担当者のふりかえり]

2016年秋に発足したちた人財・志事ツクール推進ネットワークは、知多市に“わくわくすることを起こそう！”と、学び・実践・交流の3つの場づくりを官民連携で取組んできました。10回目となったこの開催を最後に当ネットワークは、2022年2月17日に解散、清算人による清算事務を開始し、3月16日をもって清算終了しました。本事業を通しての出会いがきっかけとなって、今後の発展につなげていきたいと思ひます。(市野恵)



(9)

日本福祉大学「就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」	実施形態	委託(日本福祉大学)	収益	1,434,580円
			費用	1,166,380円

目 的：新型コロナウイルス感染症の影響などにより失業した者、解雇等見込みの者、非正規雇用労働者等のうち、福祉分野への就職に関心を持つ者を対象として福祉の仕事に必要な知識、技術を効率的に修得させ、高齢者分野、障害者分野、児童分野など多様な福祉の業務を担える人材を養成し、福祉分野への就業・就職につなげる

事業内容：①実施委員会構成員としての会議の出席(7/28、9/28、11/30、1/26、2/28)計5回

②求職者支援プログラム内の介護職員初任者研修(科目9)に関わる項目の指導講師派遣 プログラム修了者23名

	日程	時間	科目	講師派遣数
1	10/20	9:30～16:30	介護に関する基礎的理解(1)	1人
2	10/21	9:30～12:30	介護に関する基礎的理解(2)	1人
3	11/2	9:30～16:30	基礎的理解(3)、終末期介護	2人
4	11/4	9:30～16:30	生活と家事、快適な居住環境整備	1人
5	11/5	9:30～16:30	睡眠演習	2人
6	11/9	9:30～16:30	移乗演習	2人
7	11/16	9:30～16:30	移動演習	2人
8	11/18	9:30～16:30	整容演習	2人
9	11/19	9:30～16:30	排泄演習	2人
10	11/25	9:30～16:30	入浴演習	2人
11	11/26	9:30～16:30	食事演習	2人
12	11/30	9:30～16:30	介護過程の基礎的理解	2人
13	12/2	9:30～16:30	総合生活支援技術演習	2人
			累計	23人

③短期集中コース(NPO現場見学ツアー)の企画及び当日運営 プログラム修了者46名

実施日：1月13日 10:00～17:00

見学先(オンライン及び動画)：(N)かくれんぼ、南医療生協、(社福)楽笑、(株)あいぼ

[担当者のふりかえり]

求職者支援プログラムは、資格取得(初任者研修・ガイドヘルパー)に加え、ビジネスマナー研修や現場実習もあり、就職に向け段階的にサポートする内容で、当法人が派遣した講師より、受講態度が大変熱心で、積極的に学んでいたとの報告を受けている。大学事務局報告によると最終的な就職率・就業率は37%であった。介護知識を学び、現場の様子に触れることで介護の仕事に対するの自信につながり、今後の就職選択肢の一つとして福祉業界を選んでほしい。(山森英津子)

II 市民活動支援事業

II-1 市民活動団体事務局支援事業

(1)

手づくりカフェ Ada-coda	実施形態	自主事業	収益	1,984,438円
			費用	1,919,872円

目的：誰もが自分色で輝ける場の提供と「食」を通じたコミュニティづくりの応援

事業内容①：ワンデイシェフに登録した一般市民・団体が提供するランチ等のサポート及びコーディネート

ワンデイシェフ登録数:28人(16団体)、来店者数:延べ2276人

期間:通年 場所:知多市市民活動センター 調理室・交流室

事業内容②：シェフ新規開拓のため、第2回あいちの伝統野菜を学ぶ料理講座をあいち在来種保存会との共同開催

日程:2021年9月29日(水)

場所:東邦ガス プロ厨房オイス(名古屋市港区)

講師:高木幹夫(あいち在来種保存会)

調理実演講師:長田勇久(小伴天はなれ「一灯」店主・料理プロデューサー)



[担当者のふりかえり]

交流室の換気の徹底やテーブルの消毒など、感染予防に注意しながら営業を行っているため、コロナ禍で減りつつあった来店者数が増え、徐々にだが、安定した客数が見込めるようになってきた。シェフが新たに4人増えて、ますます活気が出てきた。今後も、新規シェフ獲得のため、SNSを活用した広報などに力をいれていきたい。(幸前洋子)

(2)

ベティ基金事務局	実施形態	委託事業((株)R and Tカンパニー)	収益	79,000円
			費用	60,000円

目的：制度によらない障がい者福祉活動等社会貢献活動を行うボランティア団体・NPO法人等を応援するベティ基金の助成運用及び広報に係る事務を行うことで、団体支援及び地域交流・活性につなげる

日程	場所	事業内容	会議構成員
第20回：5月末 第21回：8/12～8/20	書面審査	申請書検討会議 ※助成決定は下表のとおり	田中祐樹((株)R and Tカンパニー) 今井友乃((N)知多地域成年後見センター) 市野恵

[助成決定]

助成月	助成決定団体/団体概要	助成事業	助成額
6月	(一社)南知多ユニバーサルビーチプロジェクト(南知多町)/誰もが利用できるユニバーサルデザインの普及	障がい児者とその家族を対象に、魚つかみ取りや釣りの体験活動	10万円
9月	知多半島フットケアサポート会/専門職・NPO・自治体と連携をし、足病変の症例検討や関連情報の共有を行うネットワークを構築する	フットケア技術研修会での実技講習会で活用する物品購入	11.6万円
	(一社)Oneness/障がい者の日常生活及び社会生活を支援する	農福連携による障がい者の就労で農作業に使用する備品購入	10万円

[担当者のふりかえり]

今年度は助成件数が少なかった。これは、コロナ感染拡大防止の為、対面での事業・イベントが縮小されていたことに関係するのかなと感じている。次年度は活発な活動に繋がるよう上げていきたい。(江端智子)

(3)

事務支援	実施形態	自主事業	収益	80,140円
			費用	72,414円

目的：NPO法人等のIT相談、講座運営などの事務代行により、活動をサポートする

	支援団体	事業内容(日程)
1	(N)PakaPaka(武豊町)	強度行動障害支援者フォローアップ研修一部調整
2	(N)地域ぐるみで子育て・子育ての会こころん(知多市)	情報発信講師(4/18、5/7、6/6、15、8/16、17、18、19、21)
3	(N)あい(岩倉市)	Zoom運営支援(12/19)、YouTubeライブ配信支援(12/19)

[担当者のふりかえり]

IT関連の支援依頼が2件あった。今後もIT関連支援の需要が高まることが予想される。(久田富二子)

(4)

物品クラウドファンディング	実施形態	自主事業	収益	191,166円
			費用	188,609円

目的：インターネット(Amazonみんなで応援プログラム)を通してNPO活動の情報発信を行い、全国の共感者から物資調達ができる仕組みを活用し、団体へ物資提供。 ※Amazonみんなで応援プログラムは、(一財)非営利組織評価センター(JCNE)が認証したグッドガバナンス認証団体及び、こども食堂活動団体が参加するアマゾンジャパンの社会貢献活動

[物資提供]

	支援団体	提供内容
1	(N)くるくる(刈谷市)	絵本・遊具
2	(N)ゆめフルたけとよスポーツクラブ(武豊町)	運動補助具・遊具
3	知多ビジョンプロジェクト(知多市)	学用品
4	(N)はっぴいわん大府(大府市)	キッチン用品・米・駄菓子・冷凍庫
5	手づくりカフェ Ada-coda	キッチン用品・手指消毒剤・電気ポット

[担当者のふりかえり]

梱包品の中に送り状からのメッセージがあり、それには「以前、講師として関わりました！」と、懐かしいお便りや、アマゾンジャパンが設定した新生活応援やクリスマスといったキャンペーン期間中には、子ども食堂を応援したいといった温かいメッセージが添えられていました。企業による社会貢献活動を現場NPOへつなげていきたいと思う。(市野恵)

II-2 知多市市民活動センター支援事業

(1)

市民活動センター相談・支援	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	8,629,500円
			費用	8,629,500円

目的：市民・コミュニティ・市民活動団体及び事業者が自発的に行う、共益・公益活動を促進するための事業実施及び機能の充実を図ることにより市民協働のまちづくりに寄与する

事業内容(右表)

- ①市民活動に関する相談業務
- ②市民活動のための場所の提供業務
- ③センター使用料徴収業務
- ④市民活動に関する情報の収集及び提供業務
 - ・行政や市内外の活動団体等からの情報は、交流スペース、ラック、掲示板、ホームページを活用した情報発信
 - ・団体情報ファイルを整理して最新の情報収集
- ⑤その他市民活動の推進に必要な業務
 - ・waiwai交流会(年2回) センター登録団体を主対象に情報交換会を実施

月	稼働日数(日)	①相談(件数)	②場所の提供業務		③使用料徴収業務(件数)
			市民活動室利用(人)	会議室利用(人)	
4月	29	47	410	509	159
5月	28	18	269	522	159
6月	30	25	312	645	139
7月	29	20	248	675	110
8月	30	42	281	571	139
9月	28	42	319	630	143
10月	31	38	315	754	128
11月	28	18	294	686	128
12月	28	32	275	659	132
1月	27	31	284	453	133
2月	26	28	234	352	92
3月	30	39	324	563	148
計	344	380	3,565	7,019	1,610

[waiwai交流会]

日程	内容	参加者数
8/24	防災セミナー&ワークショップ 講演「自然災害について知識を深めよう ～帰宅困難対策の準備を！～」 講師：椿佳代(防災士、エンジェルランプ代表)	21人
3/12	「Web会議を設営しよう」～Web会議に必要な機材と組み合わせを学ぶ～ ①Web会議機材説明 ②Web会議設営と機器の利用体験 講師：伊藤裕、久田富二子	11人



[新型コロナウイルス感染症対策]

- ・入退館時の手指消毒、マスク着用徹底
- ・入館者は氏名、連絡先、健康状態等を記入提出
- ・会議室利用時の換気の徹底(30分に1回/5分程度)、利用後の室内および備品等の消毒

期間	制限	閉館時間	その他
4/20～5/11	フリースペース:食事禁止、滞在時間3時間程度	午後9時	まん延防止等重点措置適用
5/12～6/20	利用人数制限(定員の半数) フリースペース:食事禁止、滞在時間1時間程度	午後8時	緊急事態措置適用
6/21～7/11	フリースペース:食事禁止、滞在時間3時間程度	午後9時	まん延防止等重点措置適用
7/12～8/7			愛知県嚴重警戒措置実施
8/8～8/20			まん延防止等重点措置適用
8/21～8/26		午後8時	
8/27～9/30	利用人数制限(定員の半数)、水分補給以外の飲食禁止、新規受付停止、共有利用停止 フリースペース:滞在時間1時間程度	午後8時	緊急事態措置適用
10/1～10/17	フリースペース:食事禁止、滞在時間3時間程度	午後9時	愛知県嚴重警戒措置実施
2022/1/15～20			

1/21～3/21	水分補給以外の飲食禁止 フリースペース:滞在時間1時間程度	午後9時	まん延防止等重点措置適用
-----------	----------------------------------	------	--------------

(2)

市民活動センター清掃事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	880,000円
			費用	880,000円

目的:障がいの有無に関わらず、働く意欲のある人への就労の場の提供およびそのコーディネート

事業内容:週5日のセンター館内の清掃業務(年間251日)及び清掃具・消耗品の管理・充填

(3)

市民活動センター夜間管理事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	122,100円
			費用	122,100円

目的:センター夜間時における施設管理業務

事業内容:夜間(18:00～21:30)の場所の提供業務と閉館作業 ※夜間利用がある日のみ対応

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用時間(時間)	19	7.5	4	3.5	8	8.5	4.5	7	15	2	1.5	12	92.5
利用日数(日)	7	4	2	2	3	5	2	3	5	1	1	5	40

(4)

まちづくり人材育成事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	482,743円
			費用	462,743円

目的:地域活動、市民活動の担い手の掘り起こしや育成を進めるとともに、地域の現状や社会のニーズに合った持続可能な組織づくりが必要となるため、積極的にまちづくりに関わる人材を育成し、地域活性化を図る

事業内容:市民が市民を育てるまちづくりの総合拠点、知多市市民活動センターを共同運営する三者(総合ボランティアセンター、(N)市民大学ちた塾、当法人)が「本事業共同事業体協定」を締結し、月1回の企画運営会議を行い、以下のスケジュールで実施。当法人の担当は、講座「Zoomを学んで、地域で活躍しよう!」の企画運営及び事務局。
本事業では、地域活動に興味を持つ「火種」となり趣味や交友関係を広げ、まちづくりに参画する「第一歩」を踏み出すことができるよう市民活動団体の代表者より地域の現状やまちづくりに対する考えを受けて、オンラインシステムZoom機能を使いながらグループディスカッション、発表までのサポートを実施

日程	内容	講師	参加者数
9/25	①開校式「Zoomの基礎講座」 ・開校あいさつ ・事業概要説明 ・Zoomの基礎講座及び実技 ホスト向けマニュアルに沿って基本操作を学ぶ 参加者所有端末を使用しWEB会議予約を体験	長谷川一樹(市民協働課) 新美沙奈(総合ボランティアセンター) 鈴木宏樹、新美和紀(知多メディアネットワーク)	14人
10/9	②市民活動について考える グループワークその1 ・Zoomの基礎講座及び実技 ・グループ別「市民活動を学ぶ」	鈴木宏樹、新美和紀(知多メディアネットワーク) 竹内あつ子・加藤沙織(ちたビジョンプロジェクト) 永井恵子(傾聴ボランティア) 渡邊弘子(日本和装文化) 坂鏡子(地域ぐるみで子育て・子育ての会)	16人
10/30	③市民活動について考える グループワークその2 ・グループ別「ディスカッション」 事務局各担当が立ち上げたZoomに参加者が入室したのち、進め方を確認、ホスト役を交代しながらグループメンバーを招待し、前回内容についてディスカッション	各グループのファシリテーター(事務局:市民協働課、生涯学習課、市民大学ちた塾、総合ボランティアセンター、当法人)	13人

11/20	④市民活動について考える グループワークその3 ・グループ別「ディスカッション」	各グループのファシリテーターは事務局で対応	16人
12/4	⑤閉校式「発表会」 ・Zoomによるグループ発表 ・各講師より講評 ・まちづくり実行委員会の活動紹介 ・閉校あいさつ	加藤沙織、永井恵子、渡邊弘子、坂鏡子 市民大学ちた塾、総合ボランティアセンター、サポートちた 杉浦理恵(市民協働課)	15人
述べ			74人

[担当者のふりかえり]

感染防止の取り組みとして、知多市は公共施設にいち早くフリーWi-Fi環境を完備させ、オンライン機器導入を行ってくださったおかげで、オンラインを学ぶ研修や交流会を実施することができた。また実践をと通して、オンライン会議設定やオンライン会議の進行のコツを学ぶことができ、参加者の満足度は高かった。(市野恵)



(5)

若者チャレンジ支援事業「ちた未来塾」	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	797,500円
			費用	782,684円

目的：地域の未来を担う若い人たちを対象に、講座・体験・実践活動等を通じて、すでに地域活動を実践している先輩たちと共に学ぶことで、将来、積極的にまちづくりに参加できる人材を育成。最終的には参加者が次年度以降の本事業の企画等に携わることができる循環型の人材の育成を目指す

事業成果：入塾：9人(高校生1人・大学7人・社会人1人)

構成：20回(塾4回、ミーティング11回、個別対応5回)



[塾の開催]

	日程	場所	事業内容	参加者数
1	5/25	地域担当職員研修	・講義「コミュニティの状況及び市民活動への理解」 講師：杉浦理恵(知多市市民協働課)、市野恵	18人
2	7/30	知多市市民活動センター	講演会(一般公開) ・講演「『自分ごと』から『社会ごと』へ！～男女共同参画の視点から考える～」 講師：渋谷典子((N)参画プラネット代表) ・グループワーク	30人
3	8/26	知多市市民活動センター (講師はオンライン)	・講座「『自分ごと』から『社会ごと』へ！」 講師：渋谷典子 ・講座「いなべ市のまちづくり」 講師：一橋俊介((一社)グリーンクリエイティブいなべ) ・講座「いなべ市の広報」 講師：清田若菜氏(いなべ市役所秘書広報課) ・グループワーク	19人
4	11/7	にぎわいの森 いなべ市シビックセンター	フィールドワーク：三重県いなべ市 案内：一橋俊介	12人
5	12/18	知多市市民活動センター	2021年度活動報告会(一般公開) ・今年度の活動報告 ・塾生による活動報告(広報の発表) ・ちた未来塾の振り返り	25人



延べ 104人

[実施体制]

塾長	吉村輝彦(日本福祉大学国際福祉開発学部教授)
アドバイザー	渋谷典子((N)参画プラネット代表)
サポーター(4人)	森戸力(社会人・元1期生)、鈴木友梨(社会人・元第1期生)、犬飼ひかる(社会人・元第3期生)、坂本実穂(大学生・元第3期生)
担当課職員	杉浦理恵、小嶋大樹、加藤隆一
事務局	市野恵、久田富二子、山森英津子、早川純子

[担当者のふりかえり]

2021年度は、男女共同参画の視点からの若者の社会参画、三重県いなべ市のまちづくりや広報について学んだ。そして、いなべ市のまちづくりの拠点である、にぎわいの森にフィールドワークに行き、実際に行ってみる大切さ、行ってみることで得られる気づきを体感し、塾生自身の出身市町のよいところを紹介する広報づくりを行い、人に「伝わる」ために、どう表現したらよいかを考えた。それらを経験する中で、まちづくりについて、「見方が変わった」、「難しく考えなくてもよいことがわかった」、「自分もやりたくなった」など、塾生の全員から前向きな声があがった。(早川純子)



(6)

地域活動担い手育成事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	474,980円
			費用	454,980円

目的：地域活動を担う人材の養成に係る講座の実施により、地域を担う人材のリーダーシップ、ファシリテーション及びコーディネイト等のスキルアップを図る。また、受講者が他地域の住民及び市民活動団体と交流し、つながりを醸成することで、地域活動の円滑化を図るとともに、新たな取り組みの創出及び既存事業の改革などを推進できる体制をつくる

受講対象：知多市内小学校10地区、令和4年度役員、生活支援コーディネーター
(※第1回のみ、同上、令和3年度役員、地域担当職員)

開催場所：知多市市民活動センター会議室(オンライン併用)



日時	講師	事業内容	参加者数
1/16	川北秀人 (IIHOE(人と組織と地球のための国際研究所)代表)	これからの地域経営に向け、課題解決の進め方を学び、コロナ禍での事業の見直しについて、全国のある先進事例を学ぶ	45人
2/6	篠原辰二 (一社)Wellbe Design 理事長)	リーダーシップやファシリテーション、コーディネイト等のスキルに加え、コロナ禍における集団の意思決定方法とそのポイントを学ぶ	30人
2/27		地域実践に生かすため、合意形成に向けたコミュニケーション方法および個々コミュニケーションの癖や特徴を自ら知る	31人
		延べ	106人

[担当者のふりかえり]

地域活動の前提となる地域の現状、またその課題に取り組む先進事例を学ぶことで、事業の見直しのきっかけを提供することができた。また、その際の円滑な合意形成について学ぶことで、実践に向けて一歩踏み出せるのではないかと。(市野恵)

Ⅲ 情報・交流促進事業

Ⅲ-1

WEBサイト管理	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	469,300円

目的：当法人の情報発信(事業内容、講座、開催イベント等の広報)を行う。

事業成果：年間アクセス数 22,662回(2021/4/1~2022/3/31)

URL <https://sunnyday-cfsc.ssl-lolipop.jp/>



Ⅲ-2

ニュースレター発行 法人リーフレット発行	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	312,867円

目的：地域福祉サポートちたの事業報告・イベント案内・会員団体情報などのほかに、福祉・NPO・市民活動情報等を会員をはじめ、行政、社会福祉協議会、市民活動センター、市民、学生に広く発信

発行物	時期・部数	配布先
ニュースレター 「SUPPORT NEWS」	年4回(4月、7月、10月、1月) 各回700部	会員・会員団体、 愛知県内福祉・協働部署 愛知県内社会福祉協議会
法人リーフレット	年1回6月改訂 1500部	愛知県内市民活動センター 県外NPOセンター各所



SUPPORT NEWS



法人リーフレット

Ⅳ 啓発相談事業

Ⅳ-1

NPO・まちづくり講師派遣	実施形態	行政	収益	31,120円
			費用	31,120円
		民間	収益	94,089円
			費用	69,089円

目的：大学、市民団体、行政等が行う福祉、市民活動支援、まちづくり、協働等へのコーディネート、講師、委員などの派遣を行い、地域福祉や市民活動の活性化を図る

	依頼元	日程	内容	派遣者
(1) 大学等講師派遣				
1	日本福祉大学国際福祉開発学部1年	4/23	現代福祉 講義「知多半島のNPOと地域づくり」	市野恵
2	日本福祉大学 社会福祉学部2年	6/16	行政福祉特別講義「知多半島における市民活動の事例から」	市野恵
3	日本福祉大学 社会福祉学部1年	7/7	社会福祉入門 行政人間/子ども専修「医療地域における福祉実践(2)-NPO-」	市野恵
4	日本赤十字豊田看護大学	12/2	ボランティア活動論	市野恵
5	長野大学 社会福祉学部3年	12/28	専門ゼミナール「施設から在宅へ“まちづくり型福祉”をめざす知多半島型福祉モデル」	市野恵
(2) 行政・各種団体講師等派遣				
1	(N) 中部プロボノセンター	1/16	第8期プロボノメンバー研修 講義「地域福祉とボランティア活動」	市野恵
2	につぼん子ども・子育て応援団	2/12	地域まるごとケア・プロジェクト報告会 事例発表「人生100年時代の0-100歳“まちづくり型福祉”を目指す 知多半島型福祉モデル」	市野恵

(3) 各種検討委員会等委員派遣				
	依頼元	日程	内容	派遣者
1	全国NPO事務支援カンファレンス会員			市野恵
2	全国生活困窮者自立支援全国研究交流会実行委員会			市野恵
3	愛知県NPO・大学・企業などの協働検討会議			早川純子
3	愛知県市民活動支援センター情報交流会実行委員会			市野恵 早川純子
4	(N) ボランタリーネイバーズ理事			市野恵
5	(N) あいちNPO市民ネットワーク理事			市野恵
6	(N) だいこんの花理事			市野恵
7	(一社) サステナブル・コ・イノベーションフォーラム理事			市野恵

8	知多半島フットケアサポート会監事	市野恵
9	子どもゆめ基金専門委員(独立行政法人国立青少年教育振興機構)	市野恵
10	知多メディアネットワーク株式会社 FM番組審議会委員(5月書面審査、9月書面審査、3月書面審査)	市野恵
11	知多メディアネットワーク株式会社 テレビ番組審議会委員(10月書面審査、3月書面審査)	安藤千栄子
12	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員	市野恵
13	知多市特別職等報酬審議会委員	市野恵
14	知多市環境審議会委員	市野恵
15	知多市若者支援地域協議会構成員	市野恵
16	知多市市民活動センター連絡会議 開催日(月1回):4/7、5/12、6/2、7/7、8/4、9/1、10/6、11/10、12/1、1/5、2/2、3/2	早川純子 高熊仁美 山森英津子 幸前洋子
17	知多市市民活動センター連携会議 開催日(月1回):4/16、5/21、6/15、7/16、8/20、11/18、12/17、1/21、2/18、3/11	市野恵
18	ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク総会(6/3、2/3)	市野恵
19	ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク清算人会(3/16)	市野恵
20	尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議(6/26)	市野恵
21	尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会(1/29)	市野恵
22	みよし市産後ホームヘルプ事業協議会(9/15、3/3)	市野恵
23	愛知県青少年育成県民会議参加団体	市野恵
24	知多警察署協議会	山森英津子
26	愛知県経営者協会(寄稿)	市野恵

IV-2

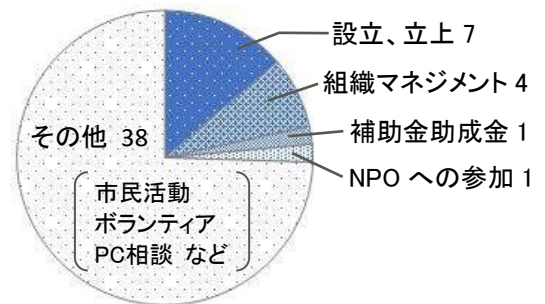
NPO法人設立・運営等相談	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	25,000円

目的：NPO法人設立や団体の日常運営、課題解決による活動支援

事業内容：電話・FAX・Eメール・来訪などで、計51件の相談に対応

[担当者のふりかえり]

コロナ禍における、オンライン会議などの機会が増えたことからZoomをはじめとした機器操作支援などの相談が増えた。また2月以降ウクライナ支援募金に関する団体相談もあった。(安藤千栄子)



IV-3

行政訪問	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	37,177円

目的：NPOと知多10市町(基礎自治体)との協働促進

事業内容：知多市とは年間を通して協働し、事業推進や情報交換を実施している。また、3市5町(常滑市、東海市、大府市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)とは、総会后、当該地域の会員団体とともに訪問、事業報告と情報交換を実施

[担当者のふりかえり]

コロナ感染拡大防止による事業の縮小など、コロナ禍におけるNPO活動の現状と課題など情報交換を行った。当該市町のNPOリーダーと共に、今後必要となる地域協働および、町内連携を呼びかけた。(安藤千栄子)

日程	訪問先(同行NPO)
6/7	東海市市民協働課((N)東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛)
6/9	武豊町企画政策課((N)ゆめじろう)
6/14	美浜町企画課、南知多町地域振興課
6/21	東浦町協働推進課(認定(N)絆)
6/25	大府市協働推進生涯学習課((認定N)ネットワーク大府)
6/28	常滑市安全協働課((N)あかり)
6/30	阿久比町政策協働課((N)もやい)

V 調査・研究・提言事業

V-1

愛知県NPOと大学・企業連携促進事業	実施形態	委託事業(愛知県社会活動推進課)	収益	1,326,922円
			費用	1,842,370円

目的：地域の課題が多様化・複雑化していく中で、様々な課題を解決していくためには、地域の多様な主体が連携・協働して取り組むことが求められており、行政や市民活動センター等の職員には、各主体の連携・協働に係るコーディネーターとしての役割が期待されている。そのため、2020年度に実施した、NPOと大学・企業の連携・協働に係る先進事例や連携・協働に関するニーズについての調査結果を元に研修を実施し、研修の内容をまとめた成果報告書を県内の市町村や市民活動センターに提供することで、多様な主体による連携・協働を促進する



事業内容：(N) ボランティアネイバーズ、(N) ボラみみより情報局、当法人の三者で構成する、共同事業体あいち協働事業サポートセンターで実施。多様な主体の連携・協働を進めるために必要なコーディネータースキルを学ぶ「多様な主体との連携・協働促進コーディネーター養成研修」と、地域課題の解決に向けて、多様な主体が集まって地域円卓会議を体験しながら学ぶ「地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議(研修)」の2種類の研修を行った。さらに、それぞれの研修の内容についてまとめた成果報告書(各200部)を作成し、市町村や市民活動センターに配布



[実施内容1] 多様な主体との連携・協働促進コーディネーター養成研修

	日程	場所	内容	参加者数
1	9/8	オンライン	【第1部】・講演:「連携・協働とは? 地域円卓会議とは?」 講師: 川北秀人(IIIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]所長) 【第2部】・グループワーク: 自己紹介と講演の感想共有、わがまち自慢&こまりごと ファシリテーター: 加藤武志(まち楽房(有)代表取締役)	28人
2	10/7	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・ペアワーク: 社会貢献活動の相談を受ける場面をイメージ 【第2部】・企業がプロボノメンバーを募り、NPOとの連携・協働を進めている事例紹介 講師: 濱島正樹(大同メタル工業(株)コンプライアンスセンターチーフ) 大須賀恵子((N)中部プロボノセンター事務局長) 【第3部】・グループワーク: 今日の「気づきと挑戦(Awareness & Try)」を共有	27人
3	11/8	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・グループワーク: 大学に連携・協働を呼びかける場面をイメージ 【第2部】・大学の地域連携センターが重要な役割を果たした事例紹介 講師: 大脇明子(名古屋経済大学地域連携センター統括主査) 松本里美((N)シェイクハンズ代表理事) 【第3部】・グループワーク: 今日の「気づきと挑戦(Awareness & Try)」を共有	26人
4	12/7	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・地域の多様な主体が関わることで活動を大きく展開していった事例紹介 講師: 星野博((N)志民連いちのみや理事長) グループトーク: 協働提案シートをストーリー仕立てにして共有 【第2部】・共有タイム: 第1部グループトークの共有 【第3部】・チェックアウト: 「グサッとメント(今日刺さったこと)」、「コミットメント(現場で〇〇します)」を発表	28人
述べ				109人



[実施内容2] 地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議(研修)

	日程	場所	内容	参加者数
1	9/8	オンライン	【第1部】・講演:「連携・協働とは? 地域円卓会議とは?」 講師: 川北秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]所長) 【第2部】・グループワーク: 地域円卓会議の意義とは。 ファシリテーター: 池田哲也((一社)地域問題研究所事業部長) アドバイザー: 川北秀人 ・話題提起:「亀崎地区まちおこしと連携・協働について」 話題提起者: 池脇啓太(日本福祉大学地域連携アドバイザー) 【第3部】個人ワーク・共有: 地域のどんな課題を解決したいのか	23人
2	9/24	まちかどサロン かめとも	【第1部】・現場見学: 半田市亀崎地区 案内人: 石川正喜((N)亀崎まちおこしの会理事/運営委員長) 【第2部】・亀崎のまちおこし、連携・協働についての質疑応答 対応者: 石川正喜、池脇啓太	10人
3	10/5	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・話題提起:「長者町エリアの取組におけるプロセスデザイン(課題認識の相互理解に焦点を当てて)」 話題提起者: 名畑恵((N)まちの縁側育くみ隊代表理事) ・地域円卓会議①:「多様な主体で課題認識について理解・共有するには」 【第2部】個人ワーク・グループワーク・発表: 地域アセスメント、課題認識の共有	23人
4	11/2	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・話題提起①:「さかさま不動産の取組(プレイヤーを増やす)」 話題提起者: 水谷岳史((株)On-Co代表取締役) ・話題提起②:「かさでのまち食堂の取組(シェアを基軸)」 話題提起者: 宮本久美子(宮本久美子建築設計事務所所長) ・地域円卓会議②:「自由な意見を出し合う」「重点的な取組を整理する」 【第2部】グループワーク: 行政構成員の宿題シートの内容について	18人
5	12/1	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・話題提起①:「名城大学の取組(多様な主体の連携)」 話題提起者: 宮原知沙(名城大学社会連携センターアドバイザー) ・話題提起②:「絆の取組(地域との関わり)」 話題提起者: 山崎紀恵子((認N)絆代表) ・地域円卓会議③:「多様な主体の役割をつくる」 【第2部】・行政構成員の「地域円卓会議 実践計画シート」発表と意見交換	16人
			述べ	90人

[担当者のふりかえり]

私は、主に「地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議(研修)」を担当した。企画としてもいろいろなことを盛り込むことができ、また、地域円卓会議やまちづくりの経験豊富な方々に、会議構成員として参加してもらい、自身の事例についての話題提起もしてもらったので、研修は有意義なものになり、報告書には地域円卓会議を行う際に大切にしなければいけないことや多様な主体を巻き込む方法など、必要な項目や具体的なアイデアをまとめることができた。これらの研修を担当して得た知識や経験は、連携・協働のコーディネータースキルも含め、他の業務にも生かしていきたいと思う。(早川純子)

V-2

0-100研究プロジェクトD 専門職による多職種連携・職員研修	実施形態	委託事業(日本福祉大学地域ケア研究 推進センター)	収益	192,292円
			費用	192,292円

目的: 在宅医療・介護連携推進事業の連携を阻む要因の一つである「医師が入った連携をどう作っていくか」をテーマに事例検討する。また、医療と福祉、病院と在宅、医師と看護師等、職種やフィールドによる言葉の使われ方の“違い”に焦点を当てながら実践での問題点を探る



ワークショップ構成員: 19名

日程	場所	事業内容	参加者数
8/19	知多市市民活動センター オンライン併用	在宅医療・介護連携推進のための多職種研修を考えるワークショップ① ファシリテーター: 藤井博之先生(長野大学社会福祉学部教授/佐久病院医師) 話題提供① 「知多半島フットケアサポート会設立の思い、現在の取り組み」 話題提供者: 長利麻衣子(小野整形外科看護師) ワークショップ① 生活に影響する“足裏”の困りごとに関する地域の実情 ミニレクチャ 「整形外科医から見た“0歳からの足育”の必要性」 話題提供者: 小野直洋(小野整形外科院長) 話題提供② 「知多半島フットケアサポート会の今後の展開と課題」 ワークショップ② 実践に向けて、わが町ですぐにできそうなことのアイディア出し	17人
11/25	知多市市民活動センター オンライン併用	在宅医療・介護連携推進のための多職種研修を考えるワークショップ② ファシリテーター: 藤井博之先生(長野大学社会福祉学部教授/佐久病院医師) 話題提供① 「医療現場から見た“連携/つながる”の違い」 話題提供者 白尾久美子(日本福祉大学看護学部 教授) ワークショップ 「他とつながる? 連携する?」 全体討論 「領域・職種・立場による“連携/つながる”の違いとは」	12人
		延べ	29人

[担当者のふりかえり]

今年度も地域における連携・協働の障壁を打破したいと考える大学、行政、社協、NPO参加メンバーによって、情報共有することができた。特に、現役看護師から医療現場で困っているケースを伺うことによって、地域課題のゲートである医療施設と地域福祉との連携の必要性を強く感じた。次年度は、複数の課題を抱える事例をもとにあるべき連携・協働を模索する予定。(市野恵)

V-3

0-100研究プロジェクトE 福祉施設等のBCP,減災ネットワークの取組	実施形態	委託事業(日本福祉大学地域ケア研究 推進センター)	収益	197,955円
			費用	197,955円

目的: 災害時の被害を最小限に抑えるための減災のつながりを構築する。特に、自然災害における「他施設との連携」や「地域との連携」等の地域まるごとの事業継続をめざす

事業内容: 調査及びワークショップ型研修の開催

調査: ①本研究会メンバーである福祉NPO(6団体)を対象に、新型コロナウイルス感染症対策の実施状況

②本研修に参加する福祉施設を対象に、BCP策定の進捗状況



日程	場所	事業内容	参加者数
9/30	知多市市民活動センター オンライン併用	講義①「災害対策とBCP策定(自然災害)」 講師: 山本克彦(日本福祉大学福祉経営学部教授) 講義②「感染症対策とBCP策定(パンデミック災害)」 講師: 新美綾子(日本福祉大学 看護学部教授) グループ別意見交換	40人
11/4	知多市市民活動センター オンライン併用	前回の振り返り 山本克彦(日本福祉大学福祉経営学部教授) 事例報告 BCP策定の進捗 報告者: 岩木さとみ(知多福祉会 やまもも第一) グループ別意見交換「BCP策定過程で困ったところを共有する」	34人
		延べ	74人

[担当者のふりかえり]

介護事業所のBCP策定が2024年から全サービスにおいて義務化される。本プロジェクトは、災害や防災・減災活動に取り組み、支援が必要な被災地へ現地入りされた先生方の実績から、BCPの前提となる被害想定を学ぶことができた。また、各施設のBCP策定調査から「地域との連携」について、その多くが未計画であることが分かったので、次年度で取り組みたい。(市野恵)

0-100研究プロジェクトG 包括的支援体制の構築に向けた研究会	実施形態	委託事業(日本福祉大学地域ケア研究推進センター)	収益	332,089円
			費用	332,089円

目的：包括的支援体制、重層的支援体制整備事業を円滑に実施していくことを目指し、自治体・社協等の関係者による研究会を運営することで、相互に情報交換や研鑽を図り、かつ知多半島で包括的な支援体制を構築する

日程	場所	事業内容	参加者数
8/18	知多市市民活動センター オンライン併用	包括的支援体制と重層的支援体制整備事業 —Q&Aを読み解く— 原田正樹(日本福祉大学地域ケア研究推進センター センター長) 意見交換 各自治体の現状を含む自己紹介及び、研究会への期待	38人
9/28	オンライン	重層的支援体制整備事業—Q&Aを読み解く— 公開研究会 講演「重層的支援体制整備事業」 講師：清水修(厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室) メンバー限定研究会 意見交換 実務担当者による本事業の捉え方(悩み、課題、期待)	45人
11/10	メディアス体育館ちた2階 大会議室	アンケート報告 末永和也(日本福祉大学福祉経営学部 助教) 事例報告 重層的支援体制整備事業着手の2自治体より 井上綾(東海市高齢者支援課) 藤原千恵(大府市福祉総合支援室) 進捗報告(包括的支援体制、重層的支援体制整備事業の準備、検討状況 8自治体より 全体ディスカッション これまでの研究会を通しての課題、今後の希望等 事業実施に向けた機能的組織体制について 菊池遼(日本福祉大学社会福祉学部 助教)	45人
			延べ 128人

[担当者のふりかえり]

日本福祉大学地域ケア研究推進センター主催による研究会は、2017年10月からスタートしたニッセイ財団40周年特別事業(高齢社会助成委託研究)の事後、現場との協働研究として「0-100歳のすべての人が安心して暮らせる知多半島モデル」の構築を目指して7つのプロジェクトで進めている。このうち当法人は3つプロジェクト事務局として現場の声を届け、その学びを共有することに努めた。(市野恵)



VI 会議の開催に関する事項

	会議名	内容	参加者	場所・日程
1	通常総会	定款の定めるところによる通常総会開催	正会員 39人 (委任状含)	知多市市民活動センター 5/27
2	理事会	定款の定めるところによる理事会開催	理事	知多市市民活動センター、当法人事務所 5/17、6/1、9/21、11/15、3/22(年6回)
3	常務理事会	理事会の議決に基づく常務理事会の開催	理事	当法人事務所 7/19、1/17(年2回)
4	監査	定款の定めるところによる監査	監事	当法人事務所 5/12
5	担当者ミーティング	①福祉人材育成グループ ②総務グループ	各担当者	当法人事務所 ①4/9、5/25、7/13、9/7、11/11 ②4/7、4/22、2/7
6	スタッフミーティング	事業進捗報告・共有 市民活動センター事業の改善	スタッフ全員	当法人事務所 4/13、5/10、6/7、7/5、8/5、9/6、10/4、11/1、12/6、1/11、2/7、3/7(月1回)

その他実績

	日	研修名など	〈開催場所等〉
4月	15日	セカンドハーベスト名古屋を支える会の全体会	〈オンライン〉
	19日	Withコロナ時代の社会参加と雇用継続のための学習会②「オンライン総会対応」	〈オンライン〉
	20日	新型コロナウイルス対策 愛知県まん延防止等重点措置 ～5月11日迄	
	20日	JCNE 第1回 ベーシックガバナンスチェック説明会「組織基盤強化のポイント23」	〈オンライン〉
	23日	(N)あいちNPO市民ネットワークセンター 理事会	〈みよし市市民活動センター〉
	26日	(N)ボランティアネイバーズ 理事会	〈オンライン〉
5月	11日	JCNE主催 交流会	〈オンライン〉
	11日	スタッフ研修「中間支援組織の役割再考」松下典子さん	〈知多市市民活動センター〉
	12日	新型コロナ特別措置法に基づく緊急事態宣言 ～5月31日迄	
	17日	(N)地域福祉サポートちた 理事会	〈事務所・オンライン〉
	20日	(N)ボランティアネイバーズ主催学習会 新たな取組を始めるヒント(補助金の活用事例等)	〈オンライン〉
	21日	生活困窮者自立支援全国研究会交流大会 第2回実行委員会	〈オンライン〉
	22日	(N)だいこんの花 総会	〈ラディッシュ〉
		(N)知多地域成年後見センター 総会	〈知多市市民活動センター〉
	23日	(N)りんりん 総会	〈オンライン〉
	24日	JCNE 監事のためのMeetUp	〈オンライン〉
	26日	JCNE 第1回認証団体オンライン交流会	〈オンライン〉
	31日	愛知県内市民活動支援センター情報交流会企画会議	〈オンライン〉
	(N)ボランティアネイバーズ理事会	〈オンライン〉	
6月	1日	新型コロナ特別措置法に基づく緊急事態宣言 延長 ～6月20日迄	
	1日	愛知県社会活動推進課 事業説明会	〈あいちNPO交流プラザ〉
	7日	行政訪問	〈東海市〉
	9日	行政訪問	〈武豊町〉
	10日	センター植栽ボランティア	〈知多市市民活動センター〉
	14日	行政訪問	〈美浜町・南知多町〉
	18日	(N)あいちNPO市民ネットワークセンター総会	〈みよし市市民活動センター〉
	20日	(N)ボランティアネイバーズ総会	〈オンライン〉
	21日	新型コロナ特別措置法に基づくまん延防止等重点措置	
		行政訪問	〈東浦町〉
		愛知県内市民活動支援センター情報交流会企画会議	〈オンライン〉
	25日	(認N)シーズ【新型コロナ対応】2021年度支援策+改正NPO法 説明・相談会(第6回)	〈オンライン〉
	27日	(N)絆主催 講演会(かさでらのまち食堂)	〈東浦町緒川コミュニティセンター〉
	28日	行政訪問	〈常滑市〉
	29日	(N)ボランティアネイバーズ主催学習会 ビジネスコミュニケーションツール活用術	〈オンライン〉
	30日	行政訪問	〈阿久比町〉
		多様な主体との連携・協働促進会議 選定委員会	〈あいちNPO交流プラザ〉
		知多後見センター主催 ライフエンディング事業	〈知多市福祉活動センター〉
7月	1日	Amazonみんなで応援プログラム ちたメディアス取材	〈ちたビジョンプロジェクト〉
	5日	(N)ボランティアネイバーズ理事会	〈オンライン〉
	6日	JCNE認証評価員養成研修〈基礎〉	〈オンライン〉
	7日	生活困窮者自立支援全国研究会交流大会 第3回実行委員会	〈知多福祉活動センター〉
	11日	共和病院主催 地域医療フォーラム「豊かな夜会生活を送るために」	〈オンライン〉
	12日	愛知県厳重警戒措置 ～8月11日迄	
	13日	公開イベント「ボラみみの新しい「理念」ができました」	〈オンライン〉
	18日	知多市制50周年記念式典	〈知多市勤労文化会館〉
		知多半島フットケアサポート会 会議	〈オンライン〉
	23日	東京オリンピック2020開幕 ～8月8日迄	
29日	知多市「ふらっと」	〈知多市役所〉	

	日	研修名など	〈開催場所等〉	
8月	1日	第17回日本福祉大学夏季大学院公開ゼミナール (D分科会)	〈オンライン〉	
		学生ボランティア面接	〈法人事務所〉	
	3日	(N)あいちNPO市民ネットワークセンター理事会	〈みよし市市民活動センター〉	
		日本福祉大学0-100プロジェクト第1回全体研究会	〈オンライン〉	
	4日	東海市子ども食堂「とまと食堂」視察見学	〈東海市荒尾町〉	
	7日	南医療生協創立60周年・南医療病院開院45周年記念事業シンポジウム	〈南医療総合病院〉	
	9日	公共サービスにおけるエッセンシャルワーカー ジェンダー視点で「見える化」PJ	〈オンライン〉	
	10日	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈しあわせ村〉	
	11日	知多市若者就労支援プログラム 就労体験面接	〈法人事務所〉	
	16日	生活困窮者自立支援全国研究会交流大会 第4回実行委員会	〈知多市福祉活動センター〉	
	21日	知多市社協主催「災害ボランティアコーディネータースキルアップ講座」	〈知多市福祉活動センター〉	
	22日	知多半島フットケアサポート会 会議	〈オンライン〉	
	25日	JCNE第2回JCNE事業説明会/情報交換会	〈オンライン〉	
		27日	愛知県緊急事態宣言発出 ～9月9日迄	
	30日	日本福祉大学サービスラーニング活動日	〈法人事務所〉	
	31日	日本福祉大学サービスラーニング活動日	〈法人事務所〉	
9月	1-2日	さわやか福祉財団 いきがい助け合いサミットin神奈川	〈オンライン〉	
	4日	知多市「未来ツクリバ」私を生かして、まち育て講演会	〈オンライン〉	
	5日	知多市子ども食堂プロジェクト	〈オンライン〉	
	6日	(N)ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉	
		13日	緊急事態宣言期間延長 ～9月30日迄	
		11日	メディアスFM収録 (防災の取り組み紹介)	〈電話で生放送〉
		14日	愛知県内市民活動支援センター情報交流会	〈オンライン〉
	15日	みよし市 産後母子支援事業協議会	〈みよし市市民活動センター〉	
10月		1日	愛知県厳重警戒措置 ～10月17日迄	
		2日	Withコロナ時代の社会参加と雇用継続のための学習会・活動相談会	〈オンライン〉
		10日	日本福祉大学第5回 子どものための心理的応急処置 (PFA)	〈オンライン〉
		13日	(N)知多地域成年後見センター臨時総会	〈知多市福祉活動センター〉
		14日	愛知県内市民活動支援センター情報交流会 世話人会	〈オンライン〉
		15日	日本福祉大学「美浜キャンパス 減災・防災ウォーキング」	〈日本福祉大学美浜校〉
		19日	(N)あいち市民ネットワークセンター理事会	〈みよし市市民活動センター〉
	29日	全国NPO事務支援カンファレンスNPO法人に求められるデジタル手続きを考える	〈オンライン〉	
11月		1日	(N)ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉
		6日	すみれ訪問看護ステーション主催 褥瘡研究会	〈オンライン〉
		10日	(N)ボランタリーネイバーズ主催 NPO向け・初めての消費税インボイス制度	〈オンライン〉
		12日	知多市市民活動センター花苗作業	〈市民活動センター〉
		13日	第8回全国研究交流会生活困窮者自立支援全国ネットワーク全体会	〈オンライン〉
		14日	第8回全国研究交流会生活困窮者自立支援全国ネットワーク分科会	〈オンライン〉
		16日	(N)ボランタリーネイバーズ主催 法人20周年プレ企画	〈オンライン〉
		17日	JCNEアドバンス評価	〈オンライン〉
	29日	知多北部広域連合第2回介護保険事業計画推進委員会	〈東海市しあわせ村〉	
12月		2日	日本赤十字豊田看護大学「ボランティア活動論」	〈オンライン〉
		5日	若者サポートセミナー2021	〈知多市若者支援センター〉
		6日	(N)ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉
		10日	サービスラーニング (岡本ゼミ) 研究発表会	〈日本福祉大学美浜校〉
		14日	ふらっと	〈知多市役所〉
		15日	愛知県資金調達セミナー	〈オンライン〉
	16日	介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」第1回実行委員会	〈アスクネット事務所〉	
	20日	知多市特別職等報酬審議会	〈知多市役所〉	

日	研修名など	〈開催場所等〉
	21日 三菱UFJ銀行半田支店 訪問	
	22日 休眠預金説明会	〈オンライン〉
	23日 ゆめ基金専門委員会	〈オンライン〉
	25日 中小企業診断士との面談 ((N)ボランティアネイバーズ)	〈知多市市民活動センター〉
	28日 長野大学社会福祉学部 専門ゼミナール	〈オンライン〉
1月	6日 愛知県内支援センター情報交換会世話人会	〈オンライン〉
	9日 知多半島フットケアサポート会設立総会	〈知多市市民活動センター〉
	15日 (N)中部プロボノセンター講義	〈日本陶磁器会館〉
	17日 サポートちた常務理事会	〈オンライン〉
	19日 (N)あいちNPO市民ネットワークセンター理事会	〈みよし市市民活動センター〉
	15日 愛知県新型コロナウイルス感染症嚴重警戒	
	20日 介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」第2回実行委員会	〈オンライン〉
	21日 愛知県まん延防止等重点措置 (～3月21日迄)	
	22日 日本福祉大学ふくしフィールドワーク実践	〈日本福祉大学東海キャンパス〉
	28日 知多北部広域連合第3回介護保険事業計画推進委員会	〈東海しあわせ村〉
	29日 尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会	〈オンライン〉
2月	2日 知多市若者就労支援センター就労体験希望者面接	〈法人事務所〉
	3日 ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク総会	〈知多市役所〉
	4日 北京オリンピック2022開幕	
	7日 (N)ボランティアネイバーズ理事会	〈オンライン〉
	8日 日本福祉大学0-100プロジェクト研究会	〈オンライン〉
	9日 知多市子育て支援体制ヒアリング	〈知多市子育て総合センター〉
	10日 介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」研修プログラム打ち合わせ	〈オンライン〉
	12日 につぼん子ども・子育て応援団「地域まるごとケア・プロジェクト」報告会	〈オンライン〉
	14日 事務支援カンファレンスNPO会計マニュアル意見交換会	〈オンライン〉
	16日 日本福祉大学ふくしフィールドワーク実践	〈ふらっとスペースならわ〉
	17日 第3回NPOと大学企業など多様な主体との協働に向けた検討会議	〈あいちNPO交流プラザ〉
	18日 介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」第3回実行委員会	〈オンライン〉
	19日 日本福祉大学ふくしフィールドワーク実践	〈みんなの縁がわ・南粕谷ハウス〉
	20日 知多市若者支援フォーラム2022	〈知多市青少年会館〉
	21日 日本福祉大学ふくしフィールドワーク実践	〈武豊町社会福祉協議会〉
	24日 三菱UFJ銀行半田支店贈呈式	〈知多市市民活動センター〉
	25日 JCNEアドバンス評価実習	〈オンライン〉
	25日 ゆめ基金専門委員会	〈オンライン〉
	28日 介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」研修プログラム打ち合わせ	〈オンライン〉
3月	1日 愛知県市民活動支援センター意見交流会打ち合わせ	〈オンライン〉
	3日 みよし市 産後母子支援事業協議会	〈みよし市市民活動センター〉
	知多市若者支援地域協議会全体実務者会議	〈知多市青少年会館〉
	4日 介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」研修プログラム打ち合わせ	〈法人事務所〉
	7日 (N)ボランティアネイバーズ理事会	〈オンライン〉
	16日 ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク清算人会	〈知多市役所〉
	17日 介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」第4回実行委員会	〈オンライン〉
	愛知県市民活動支援センター情報交流会	〈オンライン〉
	22日 愛知県嚴重警戒での感染防止対策	
	サポートちた理事会	〈法人事務所・オンライン〉
	23日 日本福祉大学多職種連携WS予算会議	〈オンライン〉
	28日 介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」研修プログラム打ち合わせ	〈オンライン〉

2021年度決算報告



- 活動計算書
- 計算書類の注記
- 貸借対照表
- 財産目録
- 備品台帳

令和 3 年度
活動計算書

令和 3年4月1日 から 令和 4年3月31日 まで

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

(単位 :円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
1) 受取入会金	5,000	
2) 受取会費	675,000	680,000
2. 受取寄付金		
1) 一般寄付金	13,000	
2) その他寄付金	323,451	336,451
3. 受取助成金等		
1) 民間補助金		
2) 国・地方補助金	48,000	48,000
4. 事業収益		
1) 自主事業収益	9,851,802	
2) 受託事業収益		
① 民間委託事業収益	4,121,041	
② 公共委託事業収益	15,324,875	19,445,916
5. その他収益		
1) 受取利息	146	
2) 雑収入	15,734	15,880
経 常 収 益 計		30,378,049
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
賃金給料	14,620,899	
法定福利費	1,247,145	
福利厚生費	421,935	
人 件 費 計	16,289,979	
(2) その他経費		
売上原価	1,462,936	
講師料	3,696,291	
旅費交通費	69,665	
通信運搬費	318,548	
地代家賃	68,557	
保険料	197,535	
修繕費	38,489	
燃料費	21,931	
消耗品費	796,225	
租税公課	1,723,524	
施設利用料	409,126	
支払手数料	294,687	
新聞図書費	34,170	
印刷費	84,170	
会議費	13,827	
リース料	237,520	
教材費	689,000	
実習費	851,067	
委託費	562,320	
基金寄付金	188,609	
雑費	37,232	
謝礼	63,000	
そ の 他 経 費 計	11,858,429	
事 業 費 計		28,148,408

2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	196,549		
法定福利費	12,598		
福利厚生費	68,585		
人件費計	277,732		
(2) その他経費			
通信費	36,682		
交際費	13,200		
保険料	58,703		
修繕費	2,024		
燃料費	1,154		
消耗品費	34,680		
租税公課	18,676		
施設利用料	8,982		
支払手数料	15,513		
諸会費	95,000		
会議費	10,749		
リース料	12,500		
研修費	12,420		
雑費	14,334		
その他経費計	355,749		
管理費計		633,481	
経常費用計			28,781,889
当期経常増減額			1,596,160
税引前当期正味財産増減額			1,596,160
法人税・住民税及び事業税額			71,021
当期正味財産増減額			1,525,139
前期繰越正味財産額			23,192,536
次期繰越正味財産額			24,717,675

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO会計基準(2017年12月12日改正、NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産は法人税法の規定に基づく定率法(但し建物は定額法)

無形固定資産は定額法

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込経理によっています

2. 事業損益の状況

科 目	1) 人材育成・研修事業		2)	3)	4)	5) 市民活動支援事業		事 業 合 計	法人管理 部 門	合 計
	福祉人材 育成事業	NPO人材 育成事業				情報交流 促進事業	調査研究 提案事業			
I. 経常収益										
1. 会費収益						27,000		27,000	653,000	680,000
2. 寄付金収益						191,166		191,166	145,285	336,451
3. 補助金収益	48,000							48,000		48,000
4. 事業収益	8,240,675	5,387,618		2,049,258	125,209	2,108,135	11,386,823	29,297,718		29,297,718
5. その他収益						8,443		8,443	7,437	15,880
小 計	8,288,675	5,387,618		2,049,258	125,209	2,334,744	11,386,823	29,572,327	805,722	30,378,049
経常収益合計	13,676,293					13,721,567				
II. 事業費										
(1) 人件費										
給料手当	1,663,289	2,512,421	439,082	1,408,832	79,175	220,327	8,297,773	14,620,899	196,549	14,817,448
法定福利費	88,182	239,353	62,988	75,585	12,598	25,196	743,243	1,247,145	12,598	1,259,743
福利厚生費	58,865	54,750	23,645	25,707	4,283	8,568	246,117	421,935	68,585	490,520
人件費計	1,810,336	2,806,524	525,715	1,510,124	96,056	254,091	9,287,133	16,289,979	277,732	16,567,711
(2) その他経費										
売上原価						1,462,936		1,462,936		1,462,936
講師料	1,670,770	1,032,104		634,740			358,677	3,696,291	11,137	3,707,428
旅費交通費	3,940	6,565		32,190	1,780	3,590	21,600	69,665	2,265	71,930
通信運搬費	112,909	34,628	109,720	32,148	3,853	7,957	17,333	318,548	36,682	355,230
交際接待費									13,200	13,200
賃借料	61,000	7,557						68,557		68,557
保険料	135,392	22,705	7,171	5,975	3,585	7,170	15,537	197,535	58,703	256,238
修繕費	17,426	7,697	2,430	2,024	1,215	2,430	5,267	38,489	2,024	40,513
燃料費	9,925	4,386	1,386	1,154	692	1,386	3,002	21,931	1,154	23,085
消耗品費	314,026	184,577	52,371	33,199	16,751	65,365	129,936	796,225	34,680	830,905
租税公課	345,920	87,780	17,276	224,588	17,276	17,276	1,013,408	1,723,524	18,676	1,742,200
施設利用料	153,968	62,428	6,781	16,552	3,992	130,731	34,674	409,126	8,982	418,108
支払手数料	133,365	58,944	18,611	15,513	9,311	18,612	40,331	294,687	15,513	310,200
諸会費									95,000	95,000
新聞図書費				2,970			31,200	34,170	7,730	41,900
印刷費		55,980	24,950	3,240				84,170		84,170
会議費		3,763		3,250			6,814	13,827	10,749	24,576
リース料	107,513	47,501	15,002	12,500	7,499	15,003	32,502	237,520	12,500	250,020
研修費									12,420	12,420
教材費	689,000							689,000		689,000
実習費	348,067	503,000						851,067		851,067
委託費	136,125	65,195		30,000			331,000	562,320		562,320
基金寄付金						188,609		188,609		188,609
雑費	17,925	7,306	754	4,539	376	2,739	3,593	37,232	14,334	51,566
謝礼						63,000		63,000		63,000
その他経費計	4,257,271	2,192,116	256,452	1,054,582	66,330	1,986,804	2,044,874	11,858,429	355,749	12,214,178
小 計	6,067,607	4,998,640	782,167	2,564,706	162,386	2,240,895	11,332,007	28,148,408	633,481	28,781,889
事業費合計	11,066,247					13,572,902				
当期増減額	2,610,046		△ 782,167	△ 515,448	△ 37,177	148,665		1,423,919	172,241	1,596,160

3. 役員及びその近親者との取引の内容

給料手当には使用人兼務役員分も含まれますが、支給対象者が少ないため個人情報保護の観点から金額の明示を省略しています。

科 目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
活動計算書 事業費 人件費 給料手当	14,620,899	
活動計算書 管理費 人件費 給料手当	196,549	
合 計	14,817,448	0

4. 固定資産の増減内訳

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計	期末帳簿価額
建物						
建物付属設備						
構築物						
機械装置						
車両運搬具	1,271,879			1,271,879	1,271,878	1
器具備品	1,158,449			1,158,449	1,158,449	
その他						
合 計	2,430,328			2,430,328	2,430,327	1

5. 使途が制約された寄付等の内訳

内 容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
ベティ基金助成金		316,000	316,000		入出金は仮受金にて計上
ウクライナ支援募金		83,000		83,000	入金は預り金にて計上
合 計		399,000	316,000	83,000	

令和 3 年度
特定非営利活動事業会計 貸借対照表

令和 4年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	18,642,368		
仮払金	0		
前払費用	29,690		
未収入金	8,281,563		
流動資産合計		26,953,621	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具	1,271,879		
減価償却累計額	△ 1,271,878	1	
工具器具備品	1,158,449		
減価償却累計額	△ 1,158,449	0	
有形固定資産合計		1	
(2) 無形固定資産			
電話加入権	86,590		
無形固定資産合計		86,590	
(3) 投資その他の資産			
預託金	9,930		
長期前払費用	241,670		
投資その他の資産合計		251,600	
固定資産合計		338,191	
資産合計			<u>27,291,812</u>
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,319,450		
前受金	0		
預り金	372,987		
未払法人税等	71,000		
未払消費税等	810,700		
流動負債合計		2,574,137	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,574,137
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		23,192,536	
当期正味財産増加額		1,525,139	
正味財産合計			24,717,675
負債及び正味財産合計			<u>27,291,812</u>

令和 3 年度
特定非営利活動事業会計 財産目録

令和 4年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金(本部)	110,755		
現金(あーだこーだ)	255,404		
普通預金 UFJ銀行 知多支店	8,491,119		
普通預金 UFJ銀行 知多支店	533,722		
普通預金 UFJ銀行 知多支店	4,623,818		
普通預金 JA知多 新知支店	465,812		
普通預金 知多信用金庫 知多支店	23,182		
通常貯金 郵貯銀行	177,326		
振替用口座 郵貯銀行	3,961,230		
現金預金合計		18,642,368	
貯蔵品			
切手			
仮払金			
前払費用			
会議室等利用料令和4年度分		29,690	
未収入金			
市民活動相談支援費 知多市	2,158,500		
市民活動センター日常清掃費 知多市	220,000		
市民活動センター夜間管理費 知多市	122,100		
知多市地域活動担い手育成事業委託料	474,980		
高齢者地域C促進受託料 愛知県	2,440,900		
NPO/大学/企業連携促進事業	121,083		
介護職員初任者研修受託料 日福大	2,744,000		
未収入金合計		8,281,563	
流動資産合計			26,953,621
2 固定資産			
車両運搬具 別紙備品台帳		1	
工具器具備品 別紙備品台帳		0	
電話加入権 0562-33-8658	41,790		
0562-33-1631	44,800		
電話加入権合計		86,590	
預託金			
リサイクル預託金(タント)	9,930		
預託金合計		9,930	
長期前払費用			
逡増定期保険料前払部分	241,670		
長期前払費用合計		241,670	
固定資産合計			338,191
資産合計			27,291,812

Ⅱ 負債の部				
1 流動負債				
未払金				
3月分給与	1,269,050			
3月分通勤費	34,804			
その他郵送料金等	15,596			
未払金合計		1,319,450		
前受金				
翌年度年会費前受金			0	
前受金合計			0	
預り金				
源泉所得税	179,143			
社会保険料本人負担額	99,144			
市県民税	11,700			
ウクライナ支援募金	83,000			
預り金合計		372,987		
未払消費税等		810,700		
未払法人税及び住民税		71,000		
流動負債合計			2,574,137	
2 固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				2,574,137
正味財産				24,717,675

備 品 台 帳

特定非営利活動法人 地域福祉サポーターたち

令和4年3月31日

台帳NO	品 名	取 得 年 月	取 得 価 額	耐 用 年 数	償 却 率	期 首 簿 価	当 期 償 却 額	減 価 償 却 累 計 額	期 末 簿 価	備 考
3	プロジェクター	H21.3.25	229,800					229,800	0	措置法特例
4	吸引シミュレータ	H24.12.21	128,760					128,760	0	措置法特例
5	軽管シミュレーション器具セット	H24.12.21	207,060					207,060	0	措置法特例
6	パソコン 富士通	H25.3.25	144,000					144,000	0	措置法特例
7	タント	H26.1.6	1,271,879	4年	0.500	1		1,271,878	1	
8	プロジェクター	H28.3.17	200,000					200,000	0	措置法特例
9								0	0	
10								0	0	
11								0	0	
12									0	
13									0	
14									0	
			2,181,499			1	0	2,181,498	1	

2022（令和4）年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた役員名簿

	役職	氏名	所属
1	理事	いまい とも 今井 友乃	特定非営利活動法人知多地域権利擁護支援センター 理事長
2	理事	おかざき よしこ 岡崎 佳子	日本福祉大学東海事務室 地域連携コーディネータ
3	理事	ささき ゆう 佐々木 優	特定非営利活動法人東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛 理事長
4	理事	しもむら かずみ 下村 一美	認定特定非営利活動法人ゆいの会 代表理事
5	理事	でぐち しん 出口 晋	特定非営利活動法人ゆめじろう 理事長
6	理事	どひ りさ 土肥 りさ	特定非営利活動法人P a k a P a k a 事務局長
7	理事	はまだ かずえ 濱田 和枝	特定非営利活動法人あかり 代表理事
8	理事	みしま ちとせ 三島 知斗世	特定非営利活動法人ボランティアネイバーズ 副理事長
9	理事	やまざき きえこ 山崎 紀恵子	認定特定非営利活動法人絆 代表理事
10	理事	わたなべ ちえ 渡邊 千恵	特定非営利活動法人りんりん 理事長
11	理事	いちの めぐみ 市野 恵	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 代表理事
12	監事	いわた みつとし 岩田 光 寿	元 知多市職員
13	監事	やざわ ひさこ 矢澤 久子	認定特定非営利活動法人ネットワーク大府 理事長

(順不同、敬称略)

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた定款変更

現状と相違による変更事項

定款の内容で現状と合わなくなっている個所に関して、5月16日開催の理事会において審議された以下の変更点を提案します。

1、定款第13条（種別及び定数）

変更理由：経営力向上をめざし、組織運営強化を図るため

変更前	変更後
(種別及び定数) 第13条 この法人に次の役員を置く。 （1）理事 10人以上 20人以内	(種別及び定数) 第13条 この法人に次の役員を置く。 （1）理事 <u>5人以上</u> 20人以内

2、附則

変更前	変更後
	附則 <u>この定款は、令和4年5月26日から施行する。</u>

2022 年度事業計画/予算



- 事業計画書
- 活動予算書
- 部門別予算書

事業計画書

一、活動方針

1、2025年ビジョン

－0～100歳の地域包括ケア実現のために－

2025（令和7）年 ビジョン	<u>0～100歳の地域包括ケアのまちづくり</u> 活発な市民活動を基盤に、専門機関と連携した地域のセーフティーネットが整い、高齢者はもとより、生活に困難を抱えるあらゆる世代の社会的弱者を包摂する、地域包括ケアのまちづくりが進んでいる。
--------------------	--

2、今年度の取り組み

- ① 知多半島を基盤とした、行政、社会福祉協議会、NPO法人、社会福祉法人、医療機関等と連携しながら、「地域共生社会」、「0歳から100歳の地域包括ケア」実現に向けた「知多半島モデル」の構築を目指した普及・定着を行う
- ② 介護職員初任者研修課程取得を目指す高校生を応援する「介拓プロジェクト」への参画
 - ・未来の介護福祉を変えるの人材を増やす
 - ・介護福祉に理解を示す若者が社会に飛び立つための土台を創る
 - ・介護福祉に関わる環境を変えていく

3、組織運営

- ① 内部スタッフの人材育成に努める
 - ・法人理念、及び、中間支援組織マネジメントを理解する研修を行う
- ② ミッションへの理解・共感をはかる
 - ・NPO経営の基本であるファンドレイズ（資金調達）に努める
 - ・組織基盤強化による信用を高める
 - ・積極的に地域へ出向き、ネットワークの拡大をはかる
- ③ 理事会・事務局機能を高め、的確な情勢判断、方針決定、事業実施を行う

二、特定非営利活動

	収入予定額	支出予定額
総合計	29,799,000 円	29,611,000 円
(うち公共事業)	13,451,000 円	13,451,000 円
(うち民間契約事業)	4,420,000 円	4,118,000 円
(その他自主事業)	11,928,000 円	12,042,000 円
収支差額	188,000 円	

I 人材育成・研修事業						収入予定額	支出予定額
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
(1) 福祉資格講座						9,878,000 円	8,773,000 円
① 介護職員初任者研修(通信)	訪問介護従事者の養成	年間1回	日本福祉大学美浜	学生40人	役職員等3名	2,800,000 円	2,500,000 円
② 介拓プロジェクト版介護職員初任者研修	学生を対象とした訪問介護従事者の養成			高校生20人		1,600,000 円	1,500,000 円
③ 強度行動障害支援者養成研修(基礎課程)	行動上著しい困難を有する障がい者の地域生活の支援が提供できる介護職員の養成	年間4回	知多市	一般160人		3,168,000 円	2,800,000 円
④ 強度行動障害支援者養成研修(実践課程)		年間2回	知多市	一般80人		1,672,000 円	1,451,000 円
⑤ 喀痰吸引等研修講座	特定者への喀痰吸引等医療行為ができる介護職員の養成	年間1回	知多市等	介護職員20人程度		638,000 円	522,000 円
(2) NPO人材育成事業						1,820,000 円	1,820,000 円
① 日本福祉大学 NPO協働型サービスラーニング	学生に自発的な体験学習を提供するための現場調整を行い、十分な振り返りとともに学生の成長を促す	通年	日本福祉大学美浜	学生	役職員等2名	750,000 円	750,000 円
② インターンシップ	学生を対象に、NPOへの理解を促す(知多市若者支援センター・名古屋短期大学)	通年	当法人事務所	学生	役職員等1名	100,000 円	100,000 円
③ マネジメントセミナー	NPO・まちづくり推進に必要な研修の開催	通年	愛知県内	一般 行政 NPO職員等50人	役職員等1名	50,000 円	50,000 円
④ 職員研修	協働のまちづくりを担う人材の育成	随時	愛知県内	行政職員	役職員等2名	140,000 円	140,000 円
⑤ NPO研修	依頼者のニーズに応じた現場見学研修	随時	愛知県内	一般 民生委員	役職員等3名	200,000 円	200,000 円
⑥ NPO視察研修	依頼者のニーズに応じた現場見学研修	随時	愛知県内	NPO 行政	役職員等2名	80,000 円	80,000 円
⑦ 介拓プロジェクト	介護職員初任者研修課程を取得する高校生の未来を応援するプロジェクト	通年	愛知県内	学生	役職員等2名	500,000 円	500,000 円

Ⅱ 市民活動支援事業							14,151,000 円	14,082,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額	
(1) 市民活動事務局支援事業							2,840,000 円	2,771,000 円
① 市民カフェAda—coda	ワンデイシェアシステムのサロン運営・コーディネート	通年	知多市市民活動センター	市民等	役職員2名	2,500,000 円	2,473,000 円	
② パティ基金	ボランティア団体、NPO法人等に対し寄付を行う事業の事務局運営	通年	知多市市民活動センター	市民等	役職員等2名	240,000 円	214,000 円	
③ 事務支援	組織運営において事務支援・IT支援を行う	通年	知多市市民活動センター	市民団体 会員団体等	役職員等2名	100,000 円	84,000 円	
(2) 市民活動支援事業(受託契約事業)							11,311,000 円	11,311,000 円
① 知多市市民活動センター相談・支援	相談・情報収集提供・場所の提供等市民活動の推進に必要な業務	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民等	役職員等5名	8,630,000 円	8,630,000 円	
② 知多市市民活動センター清掃事業	市民活動センター清掃・器具 資材の補充	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民等	役職員等5名	881,000 円	881,000 円	
③ 知多市市民活動センター夜間管理事業	市民活動センター夜間利用時の管理業務	事業契約期間	知多市市民活動センター	市民等	役職員等5名	300,000 円	300,000 円	
④ 知多市まちづくり人材育成事業	次世代のまちづくり担い手育成	事業契約期間	知多市	一般	役職員等1名	200,000 円	200,000 円	
⑤ 若者チャレンジ支援事業(知多市)	ちた未来塾(U29)の募集・運営	事業契約期間	知多市	学生・一般	役職員等2名	800,000 円	800,000 円	
⑥ 知多市地域担い手育成事業	知多市内コミュニティ役員対象の研修	事業契約期間	知多市	学生・一般	役職員等2名	500,000 円	500,000 円	

Ⅲ 情報交流促進事業							1,000,000 円	2,112,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額	
(1) 情報提供事業							0 円	1,092,000 円
① ホームページ	ホームページを通じて、NPOやまちづくりに有益な情報を提供する。	通年	当法人事務所	まちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等1名	0 円	714,000 円	
② 会報発行	会報を通じて、NPOやまちづくりに有益な情報を提供する。	年間4回	当法人事務所		役職員等2名	0 円	378,000 円	
(2) 情報交流事業							1,000,000 円	1,020,000 円
① 会員交流	会員相互の懇親を図り、情報交換に機会をもつことで、NPOの発展に寄与する	通年	知多市	団体会員 個人会員	役職員等3名	0 円	100,000 円	
② 会員リーダー研修	会員団体代表者等による、地域福祉の先進地への視察研修を行う	年間1回	各地	団体会員 個人会員	役職員等3名	1,000,000 円	900,000 円	
③ NPOと行政の意見交換会	テーマを設定し、関係者の協議の場を設営することで、地域の協働を推進する	通年	知多市	5市5町 NPO・行政	役職員等3名	0 円	10,000 円	
④ 愛知県内NPO支援センター情報交流会	県内中間支援・行政の有志職員による企画。コロナ禍における支援センターの運営状況から支援の在り方を意見交換する	通年	愛知県内	NPO支援センター	役職員等2名	0 円	10,000 円	

IV 啓発・相談事業						150,000 円	147,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
(1)講師派遣 各種審議会・審査会・委員会等参画						150,000 円	97,000 円
① NPO・まちづくり講師派遣	大学、市民団体や行政・企業などが行うNPOやまちづくり講座等に講師を派遣する。	通年	当該地域の会場。	学生、NPOやまちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等10名	150,000 円	97,000 円
(2) NPO・まちづくり相談事業						0 円	10,000 円
① まちづくり相談事業	住民が主体となり地域が協働して行うまちづくり活動推進のための相談やコーディネートを行う。	通年	公共施設など	市民 NPO・行政	役職員等2名	0 円	10,000 円
(3) 行政訪問						0 円	40,000 円
① 行政訪問	知多半島5市5町の自治体との協働推進を目的に定期的な訪問を行う。	通年	公共施設など	5市5町行政	役職員等2名	0 円	40,000 円

V 調査・研究・提言事業						2,800,000 円	2,677,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
(1)NPO・まちづくり研究調査提言事業						2,800,000 円	2,677,000 円
① あいち協働事業サポートセンター	愛知県連携・協働促進事業研修等	通年	愛知県内	NPO 行政等	役職員等3名	2,000,000 円	2,000,000 円
② 日本福祉大学地域ケア研究推進センター	ポストニッセイ0-100研究事業 ①多職種研修、②重層的支援体制整備研修、 ③BCP研修	通年	知多半島	大学 行政 NPO等	役職員等4名	800,000 円	677,000 円

2022年度（令和4年度）

活動予算書

2022年4月1日 から 2023年3月31日 まで

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

(単位 :円)

科 目		金 額	
I 経常収益			
1. 受取会費			
1) 受取入会金		30,000	
2) 受取会費		700,000	730,000
2. 受取寄付金			
1) 一般寄付金			0
3. 受取助成金等			
1) 民間補助金			
2) 国・地方補助金			0
4. 事業収益			
1) 人材育成・研修事業			
① 福祉資格講座事業収益	9,878,000		
② NPO人材育成事業収益	1,820,000		
		11,698,000	
2) 情報交流促進事業収益		1,000,000	
3) 調査研究提言事業収益		2,800,000	
4) 啓発相談事業収益		150,000	
5) 市民活動支援事業収益			
① 事務局支援事業収益	2,840,000		
② 市民活動センター委託事業収益	11,311,000	14,151,000	29,799,000
5. その他収益			
1) 受取利息			
2) 雑収入			0
経常収益計			30,529,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
賃金給料	15,636,000		
法定福利費	1,339,000		社会保険料等
福利厚生費	465,000		通勤費 健康診断
人件費計	17,440,000		
(2) その他経費			
Ada-coda原価	2,070,000		
諸謝金	2,775,000		講師料・講師交通費・見学科
旅費交通費	116,000		スタッフ交通費
通信運搬費	233,000		
交際費			
保険料	154,000		傷害保険 賠償保険 車
燃料費			ガソリン代(交通費にて積算)
消耗品費	287,000		事務用品 資料印刷 インク代
租税公課	1,418,000		印紙 消費税
施設利用料	409,000		会議室 活動室 厨房
支払報酬	274,000		社労士・税理士報酬
新聞図書費	20,000		福祉新聞
印刷費	45,000		団体パンフ・報告書等印刷
会議費	43,000		
賃借料	403,000		コピー機 電話機 セキュリティ パス賃借
研修費	800,000		
教材費	987,000		講座テキスト
実習費	723,000		実習日 活動費(SL)
委託料	1,474,000		
雑費	40,000		振込手数料等
その他経費計	12,271,000		
事業費計			29,711,000

2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	319,000		
法定福利費	27,000		
福利厚生費	10,000		
人件費計	356,000		社会保険料等 通勤費
(2) その他経費			
講師料	0		
旅費交通費	12,000		
通信費	16,000		
交際費	20,000		
保険料			
車両費	70,000		
消耗品費	10,000		事務用品 資料印刷 インク代
租税公課	77,000		法人税,自動車税
施設利用料	11,000		会議室
広告宣伝費			
支払報酬	14,000		社労士・税理士報酬
諸会費	95,000		他団体への会費
新聞図書費	10,000		書籍
印刷費			
会議費			理事会・総会
賃借料	12,000		
研修費	100,000		スタッフ研修
雑費	15,000		
その他経費計	462,000		
管理費計		818,000	
経常費用計			30,529,000
当期経常増減額			0
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産額			

2022年度 事業部門別予算書

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

(単位 :円)

科 目	1)人材育成・研修事業		2)	3)	4)	5)市民活動支援事業		事業合計	法人管理部門	合計
	福祉資格養成講座	NPO人材育成事業				情報交流促進事業	調査研究提言事業			
I. 経常収益										
1. 会費収益								0	730,000	730,000
2. 寄付金収益								0		0
3. 補助金収益								0		0
4. 事業収益	9,878,000	1,820,000	1,000,000	2,800,000	150,000	2,840,000	11,311,000	29,799,000		29,799,000
5. その他収益								0		0
小 計	9,878,000	1,820,000	1,000,000	2,800,000	150,000	2,840,000	11,311,000	29,799,000	730,000	30,529,000
経常収益合計	11,698,000					14,151,000				
II. 事業費										
(1) 人件費										
給料手当	3,271,000	745,000	939,000	1,436,000	60,000	330,000	8,855,000	15,636,000	319,000	15,955,000
法定福利費	280,000	82,000	55,000	123,000	7,000	34,000	758,000	1,339,000	27,000	1,366,000
福利厚生費	97,000	28,000	19,000	43,000	2,000	12,000	264,000	465,000	10,000	475,000
人件費計	3,648,000	855,000	1,013,000	1,602,000	69,000	376,000	9,877,000	17,440,000	356,000	17,796,000
(2) その他経費										
Ada-coda原価						2,070,000		2,070,000		2,070,000
講師料	2,395,000	15,000	100,000				265,000	2,775,000	0	2,775,000
旅費交通費	42,000	33,000	5,000		33,000		3,000	116,000	12,000	128,000
通信費	88,000	23,000	87,000	7,000	3,000	8,000	17,000	233,000	16,000	249,000
交際費	0							0	20,000	20,000
保険料	73,000	30,000	9,000	9,000	5,000	9,000	19,000	154,000		154,000
車両費	0							0	70,000	70,000
燃料費	0							0		0
消耗品費	117,000	25,000	13,000	7,000	4,000	38,000	83,000	287,000	10,000	297,000
租税公課	851,000	84,000	7,000	84,000	14,000	70,000	308,000	1,418,000	77,000	1,495,000
視察研修経費	0							0		0
施設利用料	151,000	25,000	7,000	37,000	3,000	153,000	33,000	409,000	11,000	420,000
宣伝広告費	0							0		0
支払報酬	130,000	49,000	17,000	17,000	9,000	17,000	35,000	274,000	14,000	288,000
諸会費	0							0	95,000	95,000
新聞図書費	0						20,000	20,000	10,000	30,000
印刷費	0		40,000			5,000		45,000		45,000
会議費	25,000					5,000	13,000	43,000		43,000
賃借料	220,000	74,000	14,000	14,000	7,000	14,000	60,000	403,000	12,000	415,000
研修費	0		800,000					800,000	100,000	900,000
教材費	987,000							987,000		987,000
実習費	128,000	595,000						723,000		723,000
委託費	0			900,000			574,000	1,474,000		1,474,000
雑費	18,000	12,000				5,000	5,000	40,000	15,000	55,000
その他経費計	5,225,000	965,000	1,099,000	1,075,000	78,000	2,394,000	1,435,000	12,271,000	462,000	12,733,000
小 計	8,873,000	1,820,000	2,112,000	2,677,000	147,000	2,770,000	11,312,000	29,711,000	818,000	30,529,000
事業費合計	10,693,000					14,082,000				
当期事業増減額	1,005,000		△ 1,112,000	123,000	3,000	69,000		88,000	-88,000	0

【総会】
正会員団体 28、個人 30 人
準会員団体 27、個人 32 人
2022/03/31

【役員体制】
理事 11 人、監事 2 人

【職員】 20 人

法人運営・情報交流促進・調査研究提言
市野（代表理事・事務局長兼任）、安藤、早川、久田、幸前、高熊

人材育成・研修

(1) 福祉資格講座

- ①介護職員初任者研修
- ②喀痰吸引等研修<第3号研修>
- ③強度行動障害支援者養成研修/基礎
- ④強度行動障害支援者養成研修/実践
- ⑤介拓プロジェクト

【担当】 山森、高熊

(2) NPO人材育成研修

- ①日本福祉大学（SL）
- ②インターンシップ（学生・行政）
- ③マネジメントセミナー
- ④人材育成研修（NPO・行政）
- ⑤NPO 視察研修

【担当】 山森、早川、安藤

市民活動支援

(1) 事務局支援

- ①市民カフェ A d a - c o d a
- ②ベティ基金事務局
- ③アウトリーチ型事務支援

(2) 知多市まちづくり人材育成支援

- ①協働のまちづくり研修
- ②地域の担い手育成研修
- ③若者チャレンジ支援事業

(3) 知多市市民活動センター運営

- ①センター総合受付・相談・支援
- ②センター館内清掃
- ③センター夜間管理

【担当】 安藤、早川、久田、川口、高熊、
幸前、後藤田、松山、江端、石井、
林、小澤、別府、野村、今頭、
新海、杉浦、前田

交通案内



 特定非営利活動法人
CFSC 地域福祉サポートちた

〒478-0047 愛知県知多市緑町 12-1

知多市市民活動センター 1階

TEL:0562-33-1631 FAX:0562-33-1743

E-mail : spchita@ams.odn.ne.jp

URL : <https://sunnyday-cfsc.ssl-lolipop.jp/>

発行 2022年5月26日

発行人 市野 恵

編集 NPO法人地域福祉サポートちた 事務局